



2015年度版

朋友

第31号



旧神田キャンパス



旧小石川キャンパス



東京電機大学 東京千住キャンパス

東京電機大学中学・高等学校同窓会

## 目 次

平成27年度 同窓会行事を顧みて	同窓会 会長 渡辺 幸久	1
教育の質的転換期に「5つの力」を	中学校・高等学校 学校長 大久保 靖	1
後輩に期待する	(一社)東京電機大学校友会 理事長 松尾 隆徳	2
《特集》先輩の仕事紹介		
電高の思い出 「社会へのパスポート取得」	シチズンマシナリー株式会社 営業本部 副本部長 柳平 茂夫	3
《先生方の近況》		
「校長を退いて」	前校長 向芝 京太	8
茶道部「和室」の思い出と現況	旧教職員 中村 清孝	9
《学園だより》		
中学校		10
高等学校		11
クラブ紹介 「水泳部」・「茶道部」		12
《先輩紹介》		
「2級建築士」一発合格!	未来科学研究科建築学専攻 島津 美咲	13
<平成26・27年度 同窓会活動報告>		
事業報告および事業計画		18
平成26年度 決算報告・財産目録・会計監査報告		19
平成27年度 予算・役員名簿		20
平成27年度 同窓会年間予定表		21
同窓会活動スナップ		22
定着してきた「だんわ室」		23
第57回 同窓会総会のご案内		23
広報委員会より		24
クラス会促進委員会より		25
平成25年～27年までの卒業生数・担任・クラス委員一覧		26
・学園・時事と同窓会の歩み		27
・同窓会会則・細則		31

## 平成 27 年度 同窓会行事を顧みて

東京電機大学中学・高等学校同窓会 会長 渡辺 幸久



卒業生の皆様におかれましては、平素より同窓会活動に多大なご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

始め皆様に訃報の報告をさせていただきます。平成 27 年 10 月当同窓会の会計監査を担当されておりました田中秀定さんが逝去されました。(享年 69 歳)ここに謹んでお悔やみ申し上げます。

たいと思います。

さて平成 27 年度は幹事と先生方とのコミュニケーションをより一層図るために軸足を母校がある東小金井キャンパスに置くことを命題とし同窓会組織を改変し常設委員会(総務、広報、クラス会促進、経理)を設置、常設委員会の委員長には副会長に就任いただくことにより役割分担を明確にして各行事に取り組む体制といたしました。

このような背景の下、平成 27 年度の同窓会行事を振り返りますと、5 月に第 56 回総会を東小金井キャンパス(小ホール)において 51 名の卒業生の参加をいただき開催し、平成 26 年度事業報告、決算報告、平成 27 年度事業計画、予算案、役員承認案が審議され賛成多数で承認可決されました。

総会后カフェテリア(食堂)において学校側主催の卒業生招待会が開催され、会場はあふ

れるほど大勢の卒業生が参加、在学中お世話になった先生方と楽しく懇談されておりました。

9 月には母校の文化祭「武蔵野祭」に「だんわ室」を開設し、卒業生に母校を訪れる機会を提供させていただき、訪れた卒業生は昔懐かしい先生方や仲間との旧交を温めておりました。

11 月には毎年恒例となっております「クラス委員・教職員・幹事他との懇談会」を東小金井キャンパスにおいて開催しました。懇談会では出席者との活発な意見交換がなされ、今後の同窓会運営に有意義なご意見を多数いただきました。これらのご意見を今後の同窓会運営の参考にさせていただきたいと思っております。

12 月には「校外宿泊幹事会」を箱根強羅の国民宿舎「箱根太陽荘」にて開催いたしました。会議では「クラス委員・教職員・幹事他との懇談会」の反省を中心に、参与の方々にも参加いただき、楽しいクラス会を開催していただくための実施項目について検討しました。その後の懇親会では参与の方々により一層交流を深めることができました。

以上が 27 年度の主な行事の実施状況であります。実施に当たり卒業生の皆様には不行き届きの点が多々あったかと思っておりますがご許しいただきたいと思っております。

歴史ある母校がより一層の発展を遂げていくためには卒業生の協力は何より重要であります。今後とも同窓会に積極的なご支援、ご協力をお願いいたしましてご挨拶といたします。

## 教育の質的転換期に「5つの力」を

東京電機大学中学校・高等学校 学校長 大久保 靖



同窓生のみなさまには、日頃本校の教育活動にご支援ご協力をいただきましてまことにありがとうございます。平成 27 年 4 月より校長に就任いたしました。どうぞよろしく願い申し上げます。

私は昭和 58 (1983) 年に本校に奉職以来、社会科教員として教壇に立ち、高校 3 回、中学 2 回の卒業クラスを担当いたしました。生徒との授業や学級・課外活動などを通じて、多くのことを学び経験することができました。

現在、我が国と世界は大きな変革期にあります。明治以来の日本の教育のあり方も質的転換が求められています。本校の教育内容もこの数年で大きく変わることが予想されます。

しかしながら「人間らしく生きる」という本校の教育理念は何ら変わることはありません。むしろ、これからの時代こそ、「人間らしく生きる」ことの意味を考え実践していく生き方が

求められていくものと確信しております。

ところで変革期の社会を生き抜くために必要な資質や能力は何でしょうか？

私たちはどんな時代・社会にあっても豊かで幸せな人生を送るためには、「視野の広さ」、「冒険心」、「専門性」、「共感」、「向上心」の「5つの力」を持つことが必要であると考えました。中高時代にこうしたマインドを育成するために、平成 28 年度から総合学習の一環として学年横断型の課題探求学習「T D U 4 D - L a b」を開始すべく準備を進めております。

これは共通の興味・関心を持つ中 2 から高 2 の生徒たちの小グループが自分達でテーマを設定し、正解のない課題に対して協働しながら研究を進めていくという試みです。

このように生徒たちが心豊かで幸福な人生を送ることができるよう全教職員一丸となって教育活動に邁進する所存です。

同窓生のみなさまには、重ねてご支援ご協力をお願いして就任の挨拶とさせていただきます。

# 後輩に期待する

(一社) 東京電機大学校友会 理事長 松尾隆徳



東京電機大学中学校・高等学校の生徒の皆さん、こんにちは！ 昨年（平成27年6月に）校友会理事長に就任した松尾隆徳です。

昭和40年3月、大学電気工学科を卒業、以来、出身地の名古屋で会社経営を50年行っております。東京電機大学で学んだお陰で、今

日の人生があります。感謝・感謝です。

昨年の晩秋、小金井の中学・高等学校を訪れました。私は昭和36年・37年当時の大学小金井寮の寮生でありました。当時の小金井は関東ローマ層の赤い砂塵が吹き滞り、雨が降ればぬかるみ、そんな中を武蔵境の駅から神田へ通学しました。（東小金井駅はなかった。）

大学の神田校舎は大学と電高（当時デンコウと呼んだ。）が同居し、大学生と言えども、新米一年生は、古株の電高三年生には廊下をゆずるような雰囲気もありました。私の卒業時には、グラウンドがあった小石川に電高校舎が移転し、神田校舎の雰囲気が大きく変わった記憶があります。今では都下でも有数な進学校、男女共学となり、すばらしいの一言です。

勉強・学びは死ぬまで続きます。生涯学習の時代です。学校で学んだことは、知識として皆さんの頭に残り、実社会に出てからは世間の荒波に洗われ、智慧に進化し身に付きます。社会

を良くし、皆さんを幸せにするのが智慧とってください。智慧がなければ、社会の発展はありません。そして皆さん一人ひとりの努力がなければ知識から智慧への進化は起りません。いっつに皆さんの努力です。

実学となって智慧は活かされます。「技術は人なり」は初代学長の丹羽保次郎先生の教えです。校訓「人間らしく生きる」は智慧の発露に他なりません。

自分のことは自分です。分からぬことは人に教えを請い、自分のものにする。出来るまでやり続ける、最後の一人になるまでやり続ける。完成した姿を頭に描き、朗らかな気分で正面からぶつかり続ける。気づいた時、さっと行い、先送りにしない。にっこり笑って、エイと一声、かけ声勇ましくぶつかってゆく。運命は自分で切り開くもの、境遇も自分でつくるもの。すべて、自分の努力で解決できることばかり、やれば出来るのです。

卒業後は大学に進学、もう大人です。

「一人ひとりが自己について知り、確かな知識を身につけ、将来についてしっかりした考えを持ち、自らの人生に強い一歩を踏み出して下さい。」（前校長向芝先生の言葉）

自立した人生を創りましょう。世のため人のためになる人生を送りましょう。

21世紀の新しい日本を創造する若い芽がまさに、今、小金井の地から生まれました。！

## 校友会の概要

創設 明治42年(1909年)10月21日  
正会員数 28,755人(平成27年5月1日現在)  
所在地 東京都足立区千住旭町5番

### 1. 会員に対して

#### (1) 卒業生を対象とした支援

- 県支部総会・講演会等の開催支援
- クラス会、クラブOB会援助
- 見学会の開催など

#### (2) 広報

- 「工学情報」の発行
- 「校友会のしおり」の発行
- ホームページ

#### (3) その他の会員サービス

- 学園との連絡窓口
- 法律・特許の相談窓口
- 大学出版局の書籍割引販売
- 宿泊協定施設の紹介

校友会はこんなことを  
しています

### 2. 学園との連携活動

- 学校法人東京電機大学サポート募金への協力

### 3. 在学生に対して

- 「校友会奨学金」の貸与
- 就職活動の支援
- 「KJ」(在学生向就職特集号)の発行
- 学園祭、体育祭への支援
- クラブ活動への支援
- 入学式・卒業式への記念品贈呈

## 校友会の目的

学校法人東京電機大学と緊密に  
連携を保持し、その発展に協力し、会員相互の  
親睦研修と、教育、学術及び  
文化の発展に寄与する。

### 4. 社会への活動

- 著名人による講演会の開催
- 科学技術に係る講演会などの開催

#### ■ 会員構成

1. 正会員
2. 準会員
3. 在学会員
4. 特別会員等

## 電高の思い出

## 社会へのパスポート取得

シチズンマシナリー株式会社

営業本部 副本部長 柳平茂夫



筆者 柳平氏

## ■初めに

東京電機大学中学・高等学校同窓会殿から、朋友への寄稿のチャンスをいただき、55歳の私にとっては、この人生の70%以上にあたるおおよそ40年を振り返る機会となりました。学園の中学・高校生諸君にどこまでお役に立てるかはわかりませんが、皆さんに

とっての一人の先輩として、現在の私の仕事のこと、高校時代のできごとや体験を中心に、今の私の言葉で皆さんにお話します。

ところで、皆さんは、日本のパスポートに書かれている「外務大臣要請文」をご存知でしょうか。『日本国民である本旅券の所持人を通路故障なく旅行させ、かつ、同人に必要な保護扶助を与えられるよう、関係の諸官に要請する。日本国外務大臣』となっています。パスポートは世界中で通用する身分証明書ですが、この要請文がある事によって、これを持っている日本人が、言葉も習慣も違う外国で、安全に旅を続けられるよう日本国が、その外国に要請しているわけです。

皆さんが、社会に出て社会人としての歩みを始めても、このような形のあるパスポートは必要ありませんし、誰も交付してくれません。学校の卒業、資格の取得の証となる証明書はありますが、これらには、あなたが社会人として歩む道での安全や、幸福を要請してくれる人や団体からの記述はありません。

私の40年を振り返ってみると、“高校”、“大学”、そして少し説明が必要ですが“電機学校”のそれぞれで、大変多くの恩師や友人に支えて

いただきながら、知識や技能、考える力、学ぶ力、表現する力、人とかかわる力を身につけていただきました。そう、その時に私が所属している学校や会社で身についた力こそが、日本が大きく変化する時代の中で、次のステージへ歩みを進めるパスポートになっていたのだと思います。

## ■今に至る、私の歩み

私は、東京電機大学高等学校の電気科を卒業し、電大へ進学、その4年間は大学に通いながら、現在は閉校となっていて(1992年3月閉校)、当時は夜学だった電機学校の実験助手に非常勤の勤労学生として就かせていただきました。これを経て、全く自分勝手な理由と判断で、父親の知人が1人で経営する小さな会社に勤め、社会への第一歩を踏み出すこととなります。その会社も20人位の従業員を抱える

までにはなっていましたが、思うところあって、バブル経済のピーク1990年、29歳の時に現在のシチズンホールディングス(株)にあたる、シチズン時計(株)の産業用機械事業部門だった精機事業部に転職。ここで産業用ロボットの制御設計を担当する事になりま

した。入社直後にバブル経済が崩壊。日本の構造改革の嵐の中で、シチズングループもその姿を、そして私もその中で役割を変えながら現在に至っています。思えばもうシチズンに四半世紀を超えて勤めています。

## ■電高を卒業したころの日本

私が、電高・電気科を卒業したのは1979年。既に37年前の事になります。調べてみると、巷では、サザンオールスターズの「いとしのエリー」や、チューリップの「虹とスニーカーの頃」



シチズンマシナリー本社



ました。一方、もともと精密な工業用ヤスリメーカーだった Miyano は、1940 年代に喫煙用ライターの着火用のヤスリを大量に生産するために、硬い材料を大きなパワーで加工する必要のある機械を開発し、1950 年にはその技術を生かし外販を始めています。この、それぞれのルーツから、Cincom は、棒材料径で分類すると、おおよそ  $\phi$  0.6 ~ 32 mm を守備範囲とし、微小部品を高速で生産する小径 CNC 自動旋盤を、Miyano は、最大  $\phi$  64 mm を守備範囲とし機械剛性とパワーを生かした中径 CNC 自動旋盤を得意としています。この 2 つが融合すること



Cincom L シリーズ

で技術的にも、また活躍する範囲も飛躍的に広がっています。シチズンの CNC 自動旋盤でつくられている部品を具体的にご紹介してみましよう。今の自動車は、エンジン、ミッション、ブレーキなど、どこをとっても精密部品の塊です。これらを構成する  $\phi$  1 ~ 50 mm、長さ 100mm 以下の精密で複雑な形をした金属部品。これらを作るためにシチズンの CNC 自動旋盤は数多く活躍しています。その他に、あなたが今いじっているスマホのカメラのレンズの周りにある、まあある部品、机の上にあるノートブック型のパソコンを開閉するヒンジ（蝶番）、デジカメのレンズの鏡筒、あなたがさっきまで手にしていたボールペン、シャープペンの先端も、お家の水道やガスの配管を見たことがあれば、そこにある継手と呼ばれる丸や六角型の部品も、もしあなたの周りに歯科用インプラントを入れている方がいらっしゃればその人口歯根も、チョット苦しい胃カメラ。あの黒くて細長い、その先端の複雑だけど滑らかな部品も・・・、もしかするとシチズンの CNC 自動旋盤でつくられたのかも知れません。もちろん、時計の中に詰まっている精密で美しく華麗な部品も。

### ■日本の工作機械

「グローバル化」と言う言葉を聞くようになってから久しいですが、それにともない CNC 自動旋盤をはじめ、日本の工作機械は世界中で活躍しています。工作機械は、それを使う人にとって、仕事をするための道具です。ですから、機械が故障することは仕事が止まり、お金を稼ぐことができなくなることを意味します。そこで、工作機械メーカーは、お客さまがグローバルに

広がると、それを追いかけるように機械を保守する拠点や工場を世界中に展開します。シチズンの工場は、国内 2 か所のマザー工場を中心に、中国、タイ、ベトナム、フィリピンで操業しています。また、保守を行う直営拠点は、国内 5 拠点、ドイツ、イギリス、イタリア、フランス、アメリカ 3 拠点、中国 2 拠点、台湾 2 拠点、そしてタイに展開しています。もちろん、これらの海外拠点では多くの日本人が活躍しています。まさにグローバル化への追従の姿ですね。

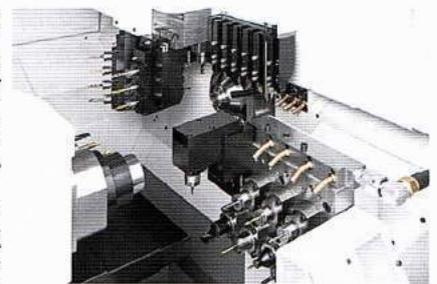
### ■今の私の仕事

私は今、CNC 自動旋盤にかかわる加工技術者、サービス技術者、ネットワーク技術者、パソコンのソフトウェアアプリケーション技術者をメンバーとして、CNC 自動旋盤をネットワークに接続しクラウドコンピュータ技術なども応用した、機械の利用技術でソリューション提供する新規事業の立ち上げを担当しています。「ソリューション」は、最近よく使われる言葉で「課題を解決する製品やサービス」と訳されます。シチズンマシナリーは工作機械メーカーですから、機械を開発して・製造して・保守サービスして・お客様に販売して、お金をいただくのが仕事です。新規事業は、これに加えて「機械の利用技術」、早い話が「機械の使い方や保守のやり方」を商材として販売する、しかもインターネットを介して、と考えているのです。この製品のブランド名を alkapplysolution（アルカプリソリューション）と呼んでいます。

### ■変化への追従、革新の創造

工作機械メーカーが、なぜインターネットまで使って、機械の利用技術を販売することに挑戦するのでしょうか？

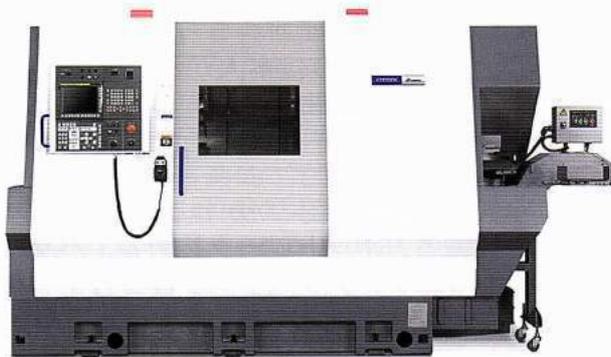
海外に工場や拠点を増やして行くことは、変化への追従です。これを実現できなければ生き残ることは困難です。しかし、これだけでは長続きはできません。グローバル化が進み、中国をはじめ新興



Cincom L シリーズの機械の内部構造

国が技術力を増せば、優秀な工作機械を作り世界中に販売します。そこでシチズンは、新興国が直ぐにはまねのできない、機械の利用技術を販売しようと考えているのです。日本の工作機械メーカーは、機械を道具として使っていただくお客様と共に成長してきました。その間に、優れた機械を作るだけでなく、その機械の高度な使い方や

修理の仕方も開発し蓄積しています。切削加工技術のようなアナログで技能的な技術の蓄積には、それ相応の時間と努力が必要です。そして、蓄積したアナログ的な技術を最新のインターネットにのせて世界中のお客様の情報端末や機械に配信できるようにします。そして、それと



Miyano ABX64

は逆に、機械の状況をネットにのせて収集・蓄積してビックデータ化し、新たなソリューションを開発し配信する。そんな革新的な工作機械の世界を創造しようとしています。これこそが alkapplysolution です。

### ■自らが、新たなステージを創る

alkapplysolution という新規事業がどこまで拡大し成功できるのかは未知数です。でも成功するか否かは別にして、サラリーマンも終盤にさしかかった 55 歳の今、もしかすると、後輩たちを迎えることのできる新たなステージを創る仕事に就けるのは、本当に幸せなことです。きっと、誰かの支援を受け、私の身に付いたパスポートを誰かが見て、歩みを進めさせてくれているに違いありません。その誰かに感謝しなくてはなりません。

### ■いつ身に付き、誰が見ている？

40 年を振り返ると、その時代々で、お世話になった方々のお名前と姿が、次々とまさに走馬灯のように浮かんできます。私は、55 歳になった今でも、今現在の何が糧になり、誰からの支援が将来に対して有効なのか？そんなこと判りません。逆に言えば、将来の私にとって、何が無駄なのかも判りません。なぜ、思い出には、涙が出るほど感謝の気持ちが持てるのに、今のことは判らないのでしょうかね。

### ■電高

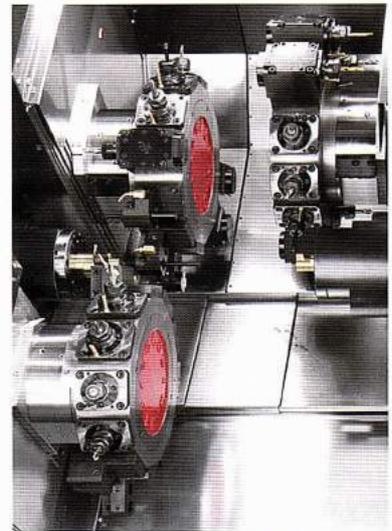
飯田橋の交差点にある大きな歩道橋を後楽園遊園地方面に渡ると、直ぐ右に交番、キッチン南海を横目で見ながら、職安のあたりを左に折れて、右側の小石川後楽園の入り口の少し先の左側に電高はありました。校門を入ってすぐ右横に守衛所。その隣に小さな犬小屋があり電

高太郎が住んでいます。太郎は犬なのにいつも黒々とした眉毛があります。おそらくマジックで描かれていたのでしょうか。2階建ての体育館の前を通過して、数段の階段を上がると校舎の玄関です。ちなみに電機学校もこの小石川校舎を使っていました。現在、皆さんが通っている小金井キャンパスに高校が移転したのは 1992 年と聞きますから小石川校舎もそのころに歴史を閉じたのでしょうか。

“1E1”つまり、1 年生・電気科・1 組の電高生として 1 年を過ごし、2 年生になる始業式の日だったか、もう少し早いタイミングだったのか記憶が定かではありません。玄関前の数段の階段の上に、1E1 の担任だった宮崎登先生が立っています。「柳平くん、チョット。君は今日から 2 組だから、2 組の教室に行って。」と突然告げられ、田上光治先生が担任をしてくださる 2E2 の生活が始まります。なぜか、時々このできごとを思い出します。担任で倫理を教えてくださいました田上先生も一昨年 2014 年に故人となられたと聞き残念でなりません。もう一度お目にかかりたかった。

今、私の手元には、1979 年の卒業アルバムがあります。当時の先生方ご一同の写真。お一人おひとりのお顔、お名前、教科、教室・実験室での光景の全てが繋がり蘇ります。

当時の電高は、電気科、電子科、機械科の工業高校の課程と普通科が併設されて、もちろん男子高。私は電気科でしたので、ガス溶接、丙種危険物取扱者、電気工事士、高圧電気工事士、そしてい



Miyano ABX64 の機械の内部構造

わゆる電検 3 種と呼ばれる第 3 種電気主任技術者と多くの資格を取得させていただきました。電気工事士の取得には、実技試験がありましたから、校舎の裏手にある工事実習の施設で、受験日が近づくと、高橋源八先生の指導の下、日々本当の電気工事さながらの実習を行ったことを思い出します。特に、合格率数%、高校生にとっては超難関とされ、当時は論文形式の試験だった電検 3 種の合格は私の誇りですし、現在でも色々なことに挑戦しようとする時に、自信を持つとうとする強い心に繋がっています。受験前の放課後には、宮崎先生を中心に多くの先生が、受験科目毎にみっちり補習を行ってください

ました。試験は青山学院大学で2日間行われ、試験が進むにつれて多くの社会人であろう受験者があきらめて減ってゆく中で、自信をもって受験を進められた時の高揚した気持ちが蘇ります。合格通知が自宅に郵送された翌日、職員室にいらした宮崎先生に報告すると大変喜んでいただき、「私のことでこんなに喜んでくれる人がいる」ということを知った瞬間でもありました。また、電気磁気学の権威でいらした、田中謙一郎先生から、著書の「電気磁気学の考え方・解き方」の最終ページに“電検3種合格おめでとう 田中謙一郎”とサインをしていただき、これを頂戴し感激したことを思い出します。

ある日、田上先生が「2組は、1組やその他のクラスと比較して、英語の成績があまりにも悪く、問題だ。そこで、これから毎日、英語の教科書の暗記をしてもらおうことにした。」と言いだしたのです。毎日朝に教科書のおよそ半ページの範囲を先生が指定し、それを翌朝までに丸暗記して、紙に書いて提出するのです。私も英語については、不得意を自慢していましたし、気持ちのどこかで「電気さえできれば英語なんて・・・」と思っていましたので、これには参りました。しかし、比較的成績の良かった私は、「負けるわけにはいかない！」とムキになって取り組み、毎朝々、丸暗記の成果を、ダントツの1番で提出し続けました。しかし、数日後には、誰だったかは失念してしまいましたが、数人でデッドヒートするようになり、私のプライドが少し傷ついたので。その後、2組の英語の成績に大きな変化は無かったと記憶しています。残念。これを読んでいただいている高校・中学生の皆さん、英語はとても大切な教科ですから、しっかり勉強してください。

校舎の玄関に入って、直ぐ左の少し大きな扉を開けると、長い廊下があり、その奥の両側に素晴らしく充実した電気機器の実習・実験ができる机と機材が広がっていました。その扉のすぐ左側には、電力の発送配電をシミュレーションし実験ができる部屋。その隣は実験準備室、奥は電気科の職員室。そして、大きな扉の右側には、シーケンス実験室がありました。私は、3年生から電機学校の助手に就いていた約5年間、この部屋に入り浸っていました。

何年生の



筆者が通っていた小石川校舎

時だったか、津村栄一先生が電気科に現れました。担当されたのは、電機よりは電子に近い分野や論理回路。このころの私は、「初歩のラジオ」や「ラジオの製作」といった月刊誌を読みあさり、ロジック回路やTK-80というマイクロコンピュータにどっぷりとハマっていたので、若くてその分野が専門の津村先生に憧れました。津村先生がいらして、しばらくするとシーケンス実験室に、私を興奮させて余りある実験設備が導入されました。高さ2m、幅・奥行きが0.5mくらいの本格的な4階建てエレベータ装置。各階には押釦、モーターで動く扉も完備されています。これを自由に制御するロジック回路を構築するために用意されているのが、高0.6×幅1.5×奥行1mくらいで、上面は、正面に向かって30度位の斜面になっていて、数十のソケットが整列して並ぶ制御回路を構築するプラットフォームで、これが3基も用意されていました。プラットフォームのソケットに、高10×幅6×奥行12cm位のロジックBOXを自由に差し込むことができます。ロジックBOXには、AND回路、OR回路、NOT回路などのロジック回路が仕込まれていて、プラットフォームに差し込んだロジックBOXの間をピン付の電線で自在に接続し制御回路を作り、エレベータを動かす事ができます。津村先生は、生意気なことを言う私に対しても親切に指導してくださり、どれくらいの期間を要したでしょうか、エレベータ装置が壊れるくらい没頭しました。その後、電高を卒業し、大学に通いながら電機学校に就いても、その給料をはたいて8BitマイコンキットTK-80でエレベータ装置を制御するインターフェイスを自作し、膨大な機械語でのプログラムを作りエレベータを動かす、津村先生をはじめ皆さんを呆れさせていました。

今思えば、エレベータ装置を独り占めしたり、電気科にあったミニコン Olivetti P6060 をいじくりまわしたり、3年生の電高祭では、一人で「大型の入場者カウンターを作るんだ!」と言って見事に失敗し、ご担当いただいた電算室の中村隆一先生をはじめ多くの皆さんにご迷惑をかけたりで、今で言うKYな高校生活を送らせていただいたのかも知れません。

### ■学園の皆さんへ

高校生までの時代は、学校の先生をはじめ多くの大人たちが、皆さんにとって嫌なことを含めて色々な指導をし、そして、それに取り組む皆さんの姿を見守っています。きっと皆さんにとっての恩師となる方々が、与えてくれる課題に対して、機に、なりふり構わず取り組んでください。それが間違いなく、社会へのパスポートを身に着けることになるはずです。

## 先生方の近況

卒業生の皆様方から、現役を引退された先生方が、その後どうされているか近況を知りたいという要望が多く寄せられ、特集してみました。紙面の関係で今回2人の先生方に近況を語っていただきました。

### 校長を退いて

前校長・校友会常務理事 向 芝 京 太

京都五山のひとつ曹洞宗大本山東福寺は東山区と伏見区の接する辺りにあります。

方丈の庫裡に入って右手の小さな庭に立ち並ぶ大小七つの石柱は北斗七星を表すそうです。左手に大きく広がる庭に敷き詰められた白砂の大海には蓬萊、瀛洲、壺梁、方丈の四神仙島を表す大きな石が置かれています。塀は奥への遠近を強調するよう次第に低くなっているといいます。その奥の築山は京都五山です。廊下を右に折れた庭では刈り込まれた草が大きな市松模様を作っています。さらに回り込んだ庭も市松模様です。方丈の北側にあたるこの庭の石と苔の作る幾何学模様は、石が奥に向かってまるで苔の緑に溶け込むように配置されていました。

東福寺本坊庭園には枯山水に融合された現代性が強く感じられました。造園家重森三玲初期の傑作です。信州小布施に門弟の高井鴻山をはじめて訪ねたとき、葛飾北斎はすでに八十三という高齢でした。その後も三度訪れた小布施に北斎は四面の祭屋台天井画を残しました。東町の龍と鳳凰、上町の男波と女波です。波濤の渦巻き状の構図に無限の彼方に収斂する廣大無辺な宇宙を感じました。

曹洞宗梅洞山岩松院。本堂の天井には八方睨みの鳳凰が描かれています。二十一畳ある極彩色の鳳凰図。八十九歳のどこにこの力があつたのでしょうか。天我をして五年の命を保たしめば真正の画工となるを得べし、北斎が死に際して残した言葉には未だ森羅万象を描き尽くしてはいないという執念が感じられます。その強さがこの巨大な肉筆画に結実したのでしょう。北

斎が逝ったのは鳳凰図を残した翌年のことでした。

長野電鉄小布施駅から祭屋台のある北斎館へは十分、そこから岩松院へは夏の日盛りを三十分歩きました。

ロダン作品の鑄造は全部で十二体までとされ、地獄の門は七体しかありません。その最初の一体が国立西洋美術館のもので、地獄の門は非常に大きな作品です。鑄造には多くの

困難を伴います。ロダンの生前には実現しませんでした。石膏像のままであった地獄の門の鑄造を初めて依頼したのは松方幸次郎です。一九二〇年代のことでした。六体目の鑄造は一九九〇年に始まり、完成には三年かかりました。七〇年の時の隔たりは作品の表現に現れているのらう

か。静岡県立美術館を訪れてみました。そこに最新の技術で鑄造された地獄の門があるからです。

長く学校の管理運営に携わってきましたが、四月に教壇に戻りました。しかし十三年の空白は埋めがたく若い先生方の教育手法に触発されながらの毎日です。生徒の成長に終わりがなく、教員のあり方にも完成はありません。生徒にとっても教員にとっても、教育は未完の営為です。生涯一教員、この気持ちを忘れたくはないものです。

管理運営と教育活動、それぞれの責任の重さを天秤に掛けることはできませんが、それでも、ほんの少し軽くなったと感じる心のゆとりが、あちこちへと好きな作品を見る旅に向かわせているこの頃です。



北斎を訪ね「おぶせ」にて

## 茶道部「和室」の思い出と現況

旧教職員 中村清孝

和室に関して原稿の依頼を受けましたが、高齢になると何分記憶が不確かなこともあり、思い違いもあるかもしれません。ご容赦ください。

和室が設置されるきっかけとなりましたのは平成17年の職員会議において当時の宮本校長による英断で、今まで各教科毎の職員室を中学校・高等学校の大職員室制に改めることが決定され、教室数を増やし講習会を開設し易くしたことに始まります。



和室にて茶を点てる中村先生

共学化へと変遷しましたので、主に女子生徒の教養を高める部活動にと職員の賛同をへて、和室設置が日の目を見ることになりました。実際の完成は平成19年春と記憶しております。

最初の業者による設計案では旅館の広間のようなものでしたので、不審菴稽古場を模して指示し直しました。当時営繕は生活指導部が窓口でしたから、向芝指導部長がご苦労されていたことが思い起こされます。

内装は整いましたが予算はそこまでですので道具類は18年度のPTA役員の方々のお力添えで整えることができました。その年の文化祭はまだ部員が集まり始めたばかりなのでオープンにはせず内々で対応したことを覚えております。茶道クラブの一期生には男子が数人頑張っておりましたが、その後は入部者がおらず残念に思います。

読書同様に家柄・学歴など一切関係なく自分を向上させる機会になるので、中学の一般教養に組み込めたらと思いながら果たせなかったことが悔やまれますが、熱心に稽古に通う卒業生もおり、相伝を引き継ぐ資格を取り学校茶道を

任せることができることが喜びの一つです。

近況報告として週二日の時間講師を恥ずかしながら続けておりますが、中学生との年齢差が大きくて、とても理解不能なことが起こります。若ければきつとうまく対応が可能なのですが、価値観や生活習慣が違いすぎて対応に苦慮しております。

やはり老兵は静かに…でしょうか。趣味としてのお茶も京都お家元での三・八稽古は修業の場とみなされ、ほぼ4時間近くは正座がもとめられます。楽しみというよりは苦行でしょうか。朝早く新幹線に乗り稽古を終えて観光する元気もなくまっすぐに夕方には帰京します。京都駅から上京区寺之内までのバスからの景色をぼおっと眺めるだけでした。

まだまだ先輩の方々頑張られておりますのに私といえば腰・膝が弱くなり、この9月に引退し今はのんびりと一握りの同好の人たちと楽しんでおります。

住まいが浅草に近いこともあり、とある小さな旅行会社から体験ツアーの項目にと依頼され、月に2～3回程度お茶に興味を寄せる他国の方々に、日本の「おもてなし」の心を伝えることもしております。日本語も怪しくなりつつある現在、もちろん通訳付きですが、茶道に精通している通訳の方ではありませんので、伝え方や文献などで資料作りが大変な作業になりました。

一年に四季があるように人生にも春夏秋冬があることを年の瀬はひしひしと感じさせてくれます。



武蔵野祭にて同窓会役員を接待する部員たち

# 学園だより (中学校)

生徒たちは、様々な行事に積極的に参加し、社会性、人間性を高めるため、先生方と一緒に努力しています。



中2 高水三山



中1 野川公園 これが全員です



中3 春の見学会 浅草仲見世が粋です



中1 河口湖フィールドセンター ガイドツアーです



中2 英語合宿 メインロードを歩む



中3 修学旅行 夢殿



全校 体育祭後の集合写真

# 学園だより (高等学校)



高校生活スタートセミナー  
本校卒業生による社会人講話：楽しそうです



高校生活スタートセミナー  
Management and Economic Simulation Exercise  
略して MESE：対抗戦です！



高校生活スタートセミナー  
学習の後は最後に箱根で遊覧船乗船！



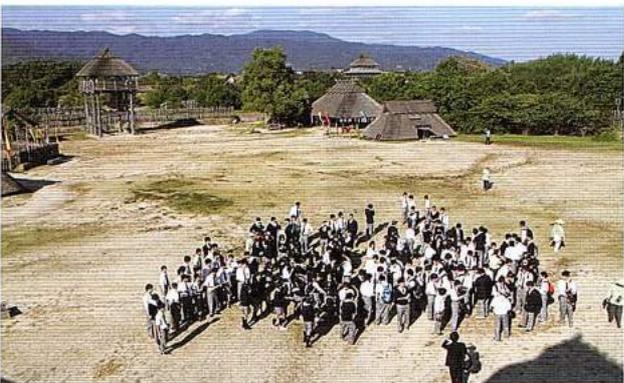
高校体育祭  
障害物競走：先生方勢ぞろい勝ったのはだれ？



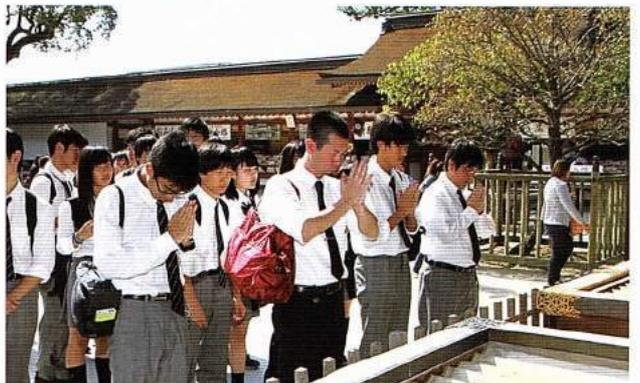
武蔵野祭  
奨励賞のオリジナルダンス



武蔵野祭  
風船に埋もれて…



高2 修学旅行  
吉野ヶ里遺跡：発掘はまだ続いています



高2 修学旅行  
太宰府天満宮：合格祈願は自分の分？先輩の分？

# クラブ紹介

## 水泳部

今年も楽しい夏が終わってしまい悲しい日々を送っている水泳部です。部員数は中学生が12名、高校生は10名で活動しております。現在の高校生は3年生が多いため卒業をしてしまうと部員数が減ってしまいますが、代わりに中学生の部員が増えてきました。部活動は1年を通じて活動していますが、基本は泳ぎなので夏期の活動が中心となり、毎年夏が来るのを心待ちにして冬を過ごしています。例年5月の連休前にプール掃除を行い連休明けから泳ぎはじめ、最後の大会が行われる10月初旬までのおよそ5ヶ月間、屋上のプールで水泳練習を行います。特に夏休み中は8月下旬に大会が行われるため、お盆期間中を含めほぼ毎日練習を行います。ここ数年は暑い日が多く、屋上のプールであるため水温が30℃



を超えることが多くなり、練習中水の中に居ながらのぼせてしまうくらいです。そんな日もあれば、気温が下がるとすぐに水温も下がり、シーズン始めや雨の日は水温が20℃にも満たない日が多くあります。部活動としては、沢山は泳がなくても、寒くても暑くてもどんなときでも必ず泳ぐようにしております。

水泳は個人競技であるため、一人でも練習ができる種目です。自分自身が無理だと思

えばそこが限界でもあり、できると信じて練習すれば大きく成長することもできます。最後は自分自身と戦う苦しい競技であり、負けない心を鍛えることが重要です。また一人で行う競技であるからこそ部員同士の関係が大切であり、少数ながらも部員同士が強く繋がらうようにしています。

## 茶道部

茶道愛好会は現在、高校生一名、中学生十二名の計十三名で、月曜と土曜の週二回活動しております。今年入部したばかりの中学生がほとんどであるため、文化祭までは高校三年生たちも、受験勉強の合間を縫って後輩の指導にあたってくれました。最初は慣れない足さばきや袱紗の扱いに手こずっていた中学生も、文化祭でなんとかお客様の前に立てるほどに成長しました。浴衣の着付けも練習し、全員が自分で着られるようになりました。



さて、文化祭では浴衣を着て、生徒のお点前で来てくださった方々をおもてなしました。高校三年生にとっては最後の文化祭です。三年間、あるいは六年間の部活動の集大成として、それぞれが心をこめてお点前を披露しました。中学生は

緊張している姿が初々しく、お点前をする生徒も、陰点てやお菓子運びをする生徒も、それぞれの役目を懸命に務めました。また茶道愛好会を創設された前顧問の中村清孝先生を慕って、多くのOB・OGが和室を訪れ、さながら同窓会のようでした。

この春で頼りになる先輩たちが卒業してしまいますが、中学生が中心となり、例年通りの文化祭発表が行えるよう日々稽古に励んでおります。決まった動作を覚えるだけでなく、道具を大切に扱うことや、一つ一つの所作

を丁寧に行うことなどを大切にしながら、今後も活動していきたいと思

本校文化祭に足をお運びの際は、ぜひ和室にもお立ち寄りください。部員一同お待ちしております。

## ★先輩の紹介★

現在、同窓会員は3万4千名を超え、様々な分野で活躍しています。今回は、建築家を目指し大学院で奮闘するOGから寄稿していただきました。

# 「2級建築士」一発合格！ 「中学校～大学院」12年間、東京電機大学在籍

未来科学研究科建築学専攻 島津美咲

私は中学・高校・大学・大学院の十二年間という長い時間を東京電機大学で過ごさせていただきました。昨年、大手ハウスメーカーで内定も頂き、私の東京電機大学生活も幕を閉じようとしています。長いようで短かった学生生活を振り返り、大学・大学院を目指したときの気持ち、大学・大学院で行ってきた活動内容、中学高校時代の思い出と私を支えてくれた人達について筆をとらせて頂きます。

### 建築学科を志したきっかけ、学部生活

私は幼い頃から、手先を動かすことが好きでした。絵を描き、粘土をこね、紙を切り、よく部屋を汚しては怒られたものです。そんな私が「建築学科」に興味を持ち初めたのは高校2年生の夏、夏休みの宿題として行かされた、東京電機大学のオープンキャンパスへの参加がきっかけでした。そこには、可愛らしいサイズの建築模型が並び、幼い頃に好きであった「ものづくり」への好奇心を強く刺激されました。自分もあんな模型を作成してみたい。そこから他校の建築学科も見学をし、最初にきっかけを与えてくれた東京電機大学への進学を決心しました。

実際に入学し、送ったキャンパスライフは想像していたものと大きくかけ離れていました。サークルやアルバイトをしながらキラキラしたお洒落な女子大生生活はそこにはなく、課題に対し、徹夜をし、フラフラになりながら毎日を過ごしていました。何より辛かったことは、周りの皆が手先が器用で、絵が上手く、想

像力が豊かであったことです。私は大学に入学するまで自分の才能を過信していました。昔から人より絵を上手に描けたし、何かを作り出すことが得意だと思っていました。しかし、それは自惚れであり、思えば人生初めての挫折を経験していたのかもしれない。自分と成績上位の人とは何が

違うのだろうか、何が評価されているのだろうか。模索の日々でした。絵の描き方と色付けの練習を見様見真似で行ってみたり、敷地に何度も足を運び自分の五感で情報を得てみたり、試行錯誤でした。また、ただプランをつくるのではなく、使い手の目線に立ち、ストーリーを描くことで、ただの箱ではない人が見える設計をすることを心がけてきました。寝られない日々、認められない日々はとても苦しかったですが、一つのことを真剣に考え続ける日々は、設計力はもちろんのこと、思考力や忍耐力も鍛えられ、充実した毎日を過ごすことができました。



筆者 島津氏



学部生講評会

### 大学院への進学の決意

大学三年生になり、進学か就職かの岐路に立たされました。院に進学するという事は、社会人になる周りの友人より二年間も遅れてしまうし、苦しい時間になることも予測でき悩みました。そこで自分は「建築について、ちゃんと学んできたのか」という一つの疑問を持ちました。記述してきた通り、私の学部生活は、人に

伝えるための画力やより良い空間について考え、表現することばかりに必死で、時間を消費する日々でした。学生のうちにしかできない、たくさんの思考や経験は得られました。しかし、建築学科を卒業したと誇れるほどの知識を持ち合わせていないように感じました。これは、当学科が六年一貫教育を唱っていたこともあると思います。これから社会人になり過ごす長い時間を見据えれば、きっとこの二年間が自分にとって大切な時間になるだろうと考えるようになり、二級建築士の資格を取得することを目標とし勉強をするために大学院への進学を決意しました。

### 大学院建築学専攻の活動内容

大学院に進学をし、一番大きく違ったことは、たくさんの時間を得たことでした。学部生の頃は、必修で組まれたカリキュラムをこなすことで一週間のスケジュールが埋まっていました。

かれています。意匠系では学部と同様に設計を中心に行い、様々な条件下での設計経験を積むことで、建築のデザイン力を鍛え、設計に至るまでのプロセス等の思考力を鍛えています。構造系では建物が倒れないためにかかる荷重を分析したり、またその力を利用して新しい形の建築を生み出すことに挑戦しています。環境系では快適な生活を送るため、建築に関わる空気や音、光について調査・分析を行ったり、それらをコントロールする技術を学んでいます。そして私の所属する計画系では、より良い空間について数値的に分析し、未来の建築デザインにおいて有益な知見を得るために研究を中心に行っています。私はこの計画系の中でも、街路景観やランドスケープ等の外部空間や、住宅や美術館・博物館等の建築を対象に、空間計画・建築計画・都市計画に対する研究を心理評価を主に用いて行っている、建築・都市空間研究室に所属しました。主な研究室の活動内容は研究の



研究室のメンバーたちと中国で行われた国際学会E B R Aに参加

対して大学院の生活というものは、必修という時間の縛りはありませんでした。学部生の頃にしていた徹夜もほとんどなくなり快適な学生生活を送ることができましたが、これは院の二年間が自分次第で価値のある時間にも無価値なものにもなり得るということでした。

東京電機大学の建築学科の研究室は、意匠・構造・環境・計画の大きく四つのジャンルに分

ための調査・分析で、年に一度建築学会が主催する大会での研究成果の発表と、国際学会への参加にも挑戦しています。

### 研究内容と研究室での活動内容

現在、大学院では「座観式庭園における空間認知特性と印象の研究」を行っています。簡単に言うと、人々が景色を眺め描いた景色と、実

際の景色の違いについての研究です。例えば、景色を眺めたときに、目立つものに視線を奪われたり、動くものに視線を誘導されたりすることがあります。複数の人で同じ景色を見ている人も、人が持つ印象はそれぞれ違い、認識している景色もそれぞれ異なっていると思われます。その特性の中でも共通するものを見つけ分析する研究です。

当研究では、この「景色」を、古来から庇や柱で景色を切り抜いて、観させることにこだわった仕掛けが多く存在する日本庭園の座観式庭園を対象に、実際に訪れ調査を行っています。学部四年から今日まで、全国の四十程の座観式庭園に足を運び、調査を行ってきました。百間は一見に如かずとも言いますが、文献や写真で見るだけでなく、実際にたくさんの日本建築を体感できたことは、とても勉強になりました。

私も研究室の活動に習い、日本建築学会で行われた大会で研究成果の発表を三回し、修士一年生の時には、中国で行われた国際学会でポスターセッションにも参加しました。日本建築学会の大会は、学生から教授・企業の研究者まで年齢役職を問わず参加でき、校内で行う発表より俄然緊張するものでした。学部四年生の時に初めて参加した大会では緊張のあまり原稿を読むことで精いっぱいでした。

回数をこなす中で、人前で話すことに躊躇がなくなり、修士二年のときの発表では質問に対しても明確にディスカッションを行え、自分の成長を実感することができました。

写真は、研究室のメンバーで中国で行われた国際学会E B R Aに参加した際の記念写真です。正直、みんな英語は得意ではなかったのですが、自己への挑戦のため行いました。ポスターに自分の考えを文字で起こすことはもちろん、自分の研究について英語でディスカッションを行うことはとても難しかったです。国境を越えれば文化も変わり、建築というジャンルでも様々な考えや形がありました。そんな中で、同じ建築計画や環境について考える学生達と、自分の研究や相手の研究についてディスカッションすることは貴重な経験となりました。また、



久米設計賞を受賞し仲間と祝杯を！

同研究チームの友人がポスターセッションの参加者の中で栄誉賞を受賞し、驚きと喜びを分かち合うこともできました。

## 二級建築士への挑戦

研究と同時進行で、院進学最大の目的でもあった二級建築士の試験勉強も行っていました。二級建築士の資格は国家資格であり、受験は年に一度しかチャンスがありません。試験は二段階になっていて、一次試験では知識を問う学科試験、その合格者は二次試験に進み五時間で即日設計を行います。まず、学科試験に合格するべく問題集を開き愕然としました。何もわからなかったからです。自分の学部時代の四年間は何だったのだろうか、習った記憶が微かにする自分の脳みそにいらつきしました。そこから、正解するまで辞めてはいけぬ、というノルマをつくり、暇さえあれば勉強に勤しみました。なんとか学科に合格し、二次の実技試験

に進んでも壁にぶつかりました。手書き図面なんて久しく描いていなかったし、実施図面は今まで描いてきた図面と大きく違っていて、自分が今まで設計してきたものが、いかに夢物語だったのか実感しました。精神的にも体力的にも大変でしたが、時間をたくさん持っている学生にできないはずはないし、なにより、自分の目標であったから気合をいれて頑張れました。結果、合格率

二割程という難関でしたが、一発で合格することができました。国家資格というものは、文字通り国に認められた資格であり、自分がちゃんと学んできた証を形にすることができ、大きな自信になりました。

## J I A オープンスクールへの参加

研究だけではなく、定期的にコンペ等設計にも挑戦を行っていました。修士一年の時には夏の五日間で開催されたJ I A オープンスクールに参加をしました。J I A オープンスクールとは、J I A により様々な大学の大学院生を対象に開かれるもので、大手設計事務所で活躍されている方々が講師としていらっしゃり、講義と即日課題を行っていきます。これを一日一社ずつ、違う四つのプロジェクトが四日間で行われ、

最後の一日でプレゼンテーションと講評が行われるというものです。出される課題に対し、一日で答えを出すというのは体力的にも大変なものでしたが、なにより、それを初めて会う他大学の院生とチームになって行うというのが精神的にも大変でした。私たちのチームは五人で形成されていて、人見知りの人が多いグループでした。相手の実力や能力、性格、思考が分からない中で、様子を伺いながら自分の意見を言うことはとても緊張しました。しかしそれも、良いものを提案したいという気持ちが私たちを一つにし、気づいた時には熱い想いを討論しながらチームワークが形成されていました。違う環境で学んできた人達と話すことで、普段は自分では絶対に思いつかないような考えが聞けました。せっかくだから私達ならではの不思議な提案をしよう、これが私達の結論になりました。本の背表紙と小口を使用し、大空間を仕切った大学図書館の提案は久米設計賞を受賞することができました。写真は仲間と祝杯をあげている様子です。参加後は従来とはまた違った視点でものを見られるようになったと同時に、集団においての自分の立ち位置についても理解することができ、後の就職活動においても役立つものになりました。

この二年間で自分は大きく成長したと感じています。人に伝えるプレゼン力、様々な視点から見る思考力、色々な場所に出向き肌で感じた経験は自分に大きな自信を与えてくれました。

### 中高生の思い出

二十四年の記憶の中でも、中高生の六年間は私の記憶の半分を占めていると思います。部活で苦しかった筋トレ、放課後ベランダから眺めていた校庭、友人と喧嘩した更衣室、くだらないことで笑い転げていたカフェテリア…。行事ごと、何でも無い日々も、私にとっては大切な宝物です。

東京電機大学の中高生は真面目で、団結力が強かった記憶があります。球技大会や体育祭では皆で朝練と昼練をしたりして、運動音痴の私には少し苦しかったです。特に、高校二年生のときに開催された合唱祭は、今でも友人と語り合うほど強い記憶に残っています。私達のクラスは歌が上手ではなかったけれど、負けず嫌いな気持ちと強い団結力がありました。例にもれず朝練、昼練、放課後練を毎日がむしゃらにしました。熱くなりすぎる故にぶつかることもありました。真面目な子も、ギャルも、静かな子も、運動部も、皆が一つの歌を全力で歌う練習

は、とても異様で楽しく、クラスの皆のことがより好きになりました。合唱祭当日は、練習してきたことを上手にできるかという緊張と、舞台の上で一つになる楽しさと、今日で終わってしまう寂しさで気持ちがいっぱいでした。

学校行事は一見将来の役に立たなさそうで、なんでこんなことするのか、めんどろだなと感じたこともありました。でも、行事のほとんどは高校を卒業したら経験できず、とても刺激的なものであったことに気づきました。また、達成感や頑張った記憶は、苦難を乗り越える上で大きな助けにもなりました。

先日、用事があり四年ぶりに高校を訪問しました。そこには変わらず迎えてくれた恩師達の姿がありました。担任であった先生も、そうでなかった先生も、それぞれが私の名前を覚えていて下さり、私との思い出話をしてくださりました。些細なことでしたが、自分はとても温かい場所で、愛情をこめて育てていただいたことを改めて実感しました。

大学・大学院生時代、様々なことに悩み壁にぶつかってきました。その時にいつも支えてくれたのは小・中・高校時代の友人です。小・中・高校生時代の友人は、全く違う夢を持ち、全く別の世界で頑張っていて、大学以降にできた友人と大きく違います。同じ目的を持っていると友人でありライバルにもなりますが、違う世界で頑張る友人は純粋に自分を応援し励ましてくれます。また、全く違う視点から意見をくれてハッとさせてくれることもありました。

自分の東京電機大学中高生時代を振り返り、人に恵まれて生きてきたことを強く感じています。東京電機大学は素敵な人で溢れていると思います。学生時代の思い出は、躓いた自分を支えてくれました。ここに改めて、自分に関わってくださった恩師、友人共々に深く感謝申し上げます。



体育館で行われた球技大会

# 平成 26・27 年度 同窓会活動報告

## 事業報告および事業計画

平成 26 年度 事業報告	平成 27 年度 事業計画
<p>1. &lt;&lt; 共通総務関係 &gt;&gt;</p> <p>[1-1] 同窓会総会の開催【5月17日千住キャンパスにて、54名出席】</p> <p>[1-2] 武蔵野祭『だんわ室』の開設・運営【9月20,21日】</p> <p>[1-3] 校外宿泊研修会の開催【10月18,19日、栃木県日光市川治温泉にて】</p> <p>[1-4] 新会員に同窓会活動についてPR説明【H27年3月7日卒業祝賀会にて】</p> <p>[1-5] 在学会員活動の奨励『武蔵野祭・中学体育祭・高校体育祭・クラブ活動合唱祭』等</p> <p>[1-6] 同窓会幹事の発掘【南 吉洋新幹事、西浦猛士新幹事の2名登用】</p> <p>[1-7] 入学記念品として、キーホルダーを贈呈【4月7日、中・高入学式にて】</p> <p>[1-8] 卒業記念品として、証書鉢みの贈呈【H27年3月高校、中学卒業式にて】</p> <p>2. &lt;&lt; 朋友・しおり委員会 &gt;&gt;</p> <p>[2-1] 今年度「朋友」は、タブロイド版新聞の形式で、3月6日に発行しました。配布は、中学・高校の在校生（新卒業生・入学生を含む）と、同窓会会員（S17～S44年度卒）5,000名に発送。</p> <p>[2-2] 「校友会のしおり」は、従来の活動内容を伝えるコンセプトから、今年度より校友会が親しみやすく豊かな人間関係を築くことを主にしたデザイン・内容に。</p> <p>3. &lt;&lt; クラス会促進委員会 &gt;&gt;</p> <p>[3-1] クラス委員名簿の充実とメンテナンスの継続を図る。</p> <p>[3-2] クラス委員不在のクラスに選任を働きかけクラス会を促す。</p> <p>[3-3] 現在のクラス委員の方の再確認を行う。</p> <p>[3-4] クラス会を開催されたクラスの名簿の収集等を行う。</p> <p>[3-5] IT委員長と検討し、クラス会の開催手続き等をホームページから可能とした。</p> <p>[3-6] クラス会、クラブOB会の開催時には、1クラス10,000円補助と学園の近況などの情報が提供出来るよう校友会との連携強化を図り行う。</p> <p>4. &lt;&lt; 業務IT委員会 &gt;&gt;</p> <p>[4-1] 中高同窓会ホームページのメンテナンス。</p> <p>[4-2] ホームページから「クラス会開催申込み」サイトを作成。</p> <p>[4-3] 昨年に引き続きワードの講習会開催。</p> <p>[4-4] 同窓会誌「朋友」の掲載。</p> <p>5. &lt;&lt; ワーキング・グループ &gt;&gt;</p> <p>1) 会長により選出されたメンバーによる会合。</p> <p>2) 中高他団体（PTA、クラブ活動後援会等）との交流。</p> <p>3) 宿泊研修会やクラス委員等懇談会懇親会にて話し合う。</p> <p>・活動により得られた情報（ご意見より）</p> <p>1) 現在の中高の実情を幹事・役員の方々に知って頂く。</p> <p>2) 現役の生徒や先生方に同窓会への理解を深めてもらう。</p> <p>3) 『東京電機大学』色の強い同窓会を『中高』独自の同窓会にする。</p> <p>・新規事業WG『答申』</p> <p>1) 高同窓会幹事会等を中学・高等学校（東小金井）で行うべきである。</p> <p>2) クラス会開催時の補助金支給条件を再検討する事が望ましい。</p> <p>3) 同窓生と現役教員、在校生との交流を図る必要がある。</p> <p>・今後の展開</p> <p>1) 各項目に関連する委員会に委嘱する。</p> <p>2) ワーキンググループなので、今年度でグループを解散する。</p>	<p>1. &lt;&lt; 共通総務関連 &gt;&gt;</p> <p>[1-1] 同窓会総会の開催【平成27年5月】</p> <p>[1-2] 武蔵野祭『だんわ室』の開設・運営【平成27年9月】</p> <p>[1-3] 校外宿泊研修会の開催</p> <p>[1-4] 新会員に同窓会活動について説明【H28年3月】</p> <p>[1-5] 在学会員活動の奨励『武蔵野祭・中学体育祭・高校体育祭・クラブ活動合唱祭』等</p> <p>[1-6] 同窓会幹事の発掘クラス会開催時に援助金と一緒にお願いする</p> <p>[1-7] 入学記念品として、キーホルダーを贈呈【平成27年4月】</p> <p>[1-8] 卒業記念品として、証書鉢みの贈呈【H28年3月】</p> <p>※新規事業</p> <p>[1-9] 各会合配布資料の会合関係者への事前配布の実施</p> <p>[1-10] 各開催準備作業の定型化を行う</p> <p>2. &lt;&lt; 経理委員会関連 &gt;&gt;</p> <p>平成27年度より新設された委員会である。今年度は、現状把握から活動を開始する。</p> <p>[2-1] 予算編成</p> <p>1) 必要な経費なのか再度見直す。</p> <p>[2-2] 予算の執行</p> <p>1) 年に一回の決算以外にも活動を行い無駄遣いを省き有意義な活動には、十分な予算を適宜に割り当てる。</p> <p>[2-3] 決算</p> <p>1) 数値の羅列でなく、わかりやすい決算書を心がける。</p> <p>3. &lt;&lt; クラス会促進委員会関連 &gt;&gt;</p> <p>クラス会促進委員会は、『同窓会の充実とクラス会開催の促進を図る』事を第一に考え活動しております。卒業生の皆様が中学・高等学校の仲間と恩師を囲み楽しいクラス会が開催できる様支援しています。広報委員会及び、校友会事務局と連携し、会員からの情報を基に、より多くのクラス会開催を支援するため、今年度は下記項目の活動を計画しています。</p> <p>[3-1] クラス委員名簿の充実とメンテナンスの継続を図る。</p> <p>[3-2] 校友会と連携しクラス委員不在及びクラス委員辞退者のクラスに選任を働きかけクラス会を促す。</p> <p>[3-3] 現在のクラス委員の方の再確認を行う。</p> <p>[3-4] クラス会を開催されたクラスの名簿の収集等を行う。</p> <p>[3-5] あらゆる場面を通じて、クラス会の開催のPRを行う。（広報委員会との協力を得る。）</p> <p>[3-6] クラス会、クラブOB／OG会の開催時には、1クラス15,000円補助と学園の近況などの情報が提供出来るよう校友会との連携強化を図り行う。</p> <p>4. &lt;&lt; 広報委員会関連 &gt;&gt;</p> <p>本年度から「IT業務委員会」と「朋友、しおり委員会」が一緒になり、広報委員会と名前が変わります。</p> <p>[4-1] 中高同窓会ホームページのメンテナンス。</p> <p>[4-2] 同窓会誌「朋友」（冊子形式）の発行。</p> <p>[4-3] 校友会しおり委員会への協力。</p>

● 23 ページ：「武蔵野祭」＜9月15日（土）・16日（日）＞は、＜9月19日（土）・20日（日）＞に訂正。

：総会、懇親会の時間に変更になりました。総会：16時から、懇親会：17時30分からとなります。

## 平成 26 年度 決 算 報 告

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科 目		金 額	科 目		金 額
会 費		1,620,000	事 業 費		1,095,045
内 訳	4,000 円× 244 名 (高校)	972,000	内 訳	総 会 費	344,608
	4,000 円× 162 名 (中学)	648,000		教職員・クラス委員懇談会費	146,022
				クラス会補助金	320,000
				クラブOB・OG会補助金	30,000
				同窓会誌制作発行費	1,005,400
				宿泊幹事会費	98,279
				『だんわ室』開設費	16,370
				クラス会促進委員会費	12,000
				業務IT委員会費	0
				朋友しおり委員会	16,000
校友会活動費		1,400,000	会議費		633,960
雑収入 (祝金、貯金利子他)		80,133	1) 通常幹事会		441,200
			2) 武蔵野祭幹事会		113,680
			3) 各委員会、他		79,080
			諸費		175,480
			1) 交通費		17,080
			2) 慶弔費		126,000
			3) 雑費		0
			4) ホームページ・メンテナンス費		32,400
			事務通信費		195,509
			1) 書類発送費		195,509
小 計		3,100,133	小 計		2,994,169
前期繰越金		561,154	前期繰越金		667,118
収入合計		3,661,287	支出合計		3,661,287

## 平成 26 年度 財 産 目 録

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科 目		期首残高	期末残高
一般会計		561,154	667,118
内 訳	現金	553,447	57,470
	普通預金 (三菱東京 UFJ 神田支店)	7,707	609,648
積立資産		2,071,307	2,072,453
内 訳	郵便局ぱるる (通常郵便貯金)	506,384	506,635
	野村証券 第 10 回公社債投資信託 (自動継続)	1,564,923	1,561,878 1,565,918
合 計		2,576,447	2,554,270

## 平成 26 年度 会計監査報告

上記決算について、会計監査の結果、正確かつ適正に処理されていることを認めます。

平成 27 年 4 月 8 日

見 崎 正 行 (印)  
田 中 秀 定 (印)

# 平成 27 年度 予 算

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科 目		金 額	科 目		金 額
会 費		1,736,000	事 業 費		2,405,000
内 訳	4,000 円× 251 名 (高校)	1,004,000	内 訳	総 会 費	200,000
	4,000 円× 169 名 (中学)	732,000		教職員・クラス委員懇談会費	200,000
校友会補助金 雑収入		1,400,000 50,000	クラス会補助金	500,000	
			クラブOB・OG会補助金	80,000	
			同窓会誌制作発行費	1,005,000	
			校外宿泊研修会費	130,000	
			『だんわ室』開設運営費	60,000	
			総務委員会費	50,000	
			広報委員会費	70,000	
			クラス会促進委員会費	50,000	
			経理委員会費	20,000	
			運営委員会費	20,000	
			会則検討委員会費	20,000	
			会議費	560,000	
			1) 通常会議費	400,000	
			2) 武蔵野祭幹事会	160,000	
諸 費	230,000				
1) 慶弔費	130,000				
2) 交通費	20,000				
3) パソコンソフト購入費	70,000				
4) 雑費	10,000				
事務通信費	190,000				
1) 書類発送費	190,000				
小 計		3,186,000	小 計		3,385,000
前期繰越金		667,118	次期繰越金		468,118
収入合計		3,853,118	支出合計		3,853,118

## 平成 27・28 年度 役 員 名 簿

役 名	氏 名	卒年	役 名	氏 名	卒年	役 名	氏 名	卒年
名誉会長	大久保 靖久	S39	参 与	松 下 裕 輔	34	27・28 幹 事	横 山 眞 一	S27
副会長	渡辺 幸志	40		石 崎 泰 司	37		藤 正 司	34
	川村 登一	43		塚 宮 忠 克	39		木 橋 幸 治	35
	大金 一英	45		加 藤 克 美	41		串 田 登 志	37
	伊奈 敬司	48	26・27 幹 事	向 井 暉 二	S32		川 登 志 夫	40
会 計	平野 桂介	57		渡 井 幸 久	39		白 林 一 夫	41
計 監 査	野木 桂正	57		澤 敏 之	40		田 俊 勝	41
会 計 監 査	見崎 正秀	35		小 岩 崎 好 雄	41		田 俊 勝	41
総務委員会	田中 登志	40		岩 部 好 雄	41		沼 嶋 一 秀	43
	村 登 志 勝	41		矢 荒 宇 多	42		大 花 染 野	44
	幕田 俊博	45		荒 宇 多 浩	45		嶋 口 奈 敬	46
ク ラ ス 会 促 進 委 員 会	金子 一英	41		津 金 多 田	45		野 口 奈 敬	48
進 委 員 会	竹内 勇夫	42		金 木 子 村	45		伊 河 野 吉	53
広 報 委 員 会	伊奈 幸保	53		木 古 城 原	48		竹 内 山 田	53
	串平 桂保	37		相 平 野 藤	50		内 山 田 本	54
経 理 委 員 会	鈴木 整司	34		平 野 藤 敏	53		山 田 本 治	55
顧 問	宮崎 廣 毅	35		内 西 藤 敏	57		松 本 田 里	56
	高宮 久本			西 藤 敏 禎	H01		渡 坂 田 里	H02
	宮向 芝京	48		田 西 尾 村	01		中 西 和 昭	03
参 与	野瀬 健一	23		西 木 関 藤	04		吉 里 昭 吉	05
	野瀬 善治	27		木 関 藤 敏	09		純 一	12
	野瀬 善治	27		佐 藤 葉 瑠	12			12
	加藤 康太	29		高 橋 由 里	18			19
	山 柴 茂	29		平 南 希 洋	19			19
	小 谷 登	30			19			19
		31			21			21

※各委員会の下線は委員長、他は副委員長。

# 平成 27 年度 同窓会年間予定表

(作成日 2015 年 2 月 16 日)

毎年、同窓会では次年度の年間計画表を作って様々な活動をしておりますが、学校行事や校友会理事を担当している役員もいることから、学校・校友会とも事前に打ち合わせ、密接に連携し行事や活動が重ならないよう予定をたてています。

月	中・高同窓会	中・高 学校行事	校友会・大学・電機
H27 4月	25(土)：第510回 幹事会 小金井キャンパス会議室 (15:00～17:00)	07：中・高入学式 08：始業式・対面式	02：大学入学式 21：第689回理事会
5月	23(土)：第511回幹事会 (12:00～13:30) ◎第56回総会(14:00～15:30) 小金井キャンパス小ホール	卒業生招待会 小金井キャンパスカフェテリア (16:00～17:30)	19：第690回理事会
6月	18(木)：第512回幹事会 小金井キャンパス会議室 (18:00～19:30)	06：高校体育祭① 13：高校体育祭②	6：第3回社員総会 23：第692回理事会
7月	25(土)：第513回幹事会 小金井キャンパス会議室 (15:30～16:45)		21：第693回理事会
8月	「だんわ室」開設準備合同打合せ		
9月	19(土)：第514回幹事会(16:00～16:45) 小金井キャンパス図書室 ・同窓会・後援会合同で武蔵野祭に「だんわ室」 設営 ・パソコン教室開催 図書室(15:30～16:30) ・懇親会(18:00～20:00)	19・20武蔵野祭	15：第694回理事会
10月	22(木)：第515回幹事会(18:00～19:30) 小金井キャンパス会議室		20：第695回理事会
11月	28(土)：第516回幹事会(14:00～15:00) 小金井キャンパス会議室 ・クラス委員、教職員、幹事、懇談会 (15:00～16:30) ・懇親会(17:00～19:00)		24：第696回理事会
12月	12(土)～13(日)：校外宿泊幹事会 第517回幹事会(16:00～17:00) 箱根国民宿舎「太陽山荘」		1：第697回理事会 年末役員懇談会
H28 1月			23：第12回職域電機会長会
2月	04：運営委員会18:00～20:00 千住キャンパス 13：第518回幹事会15:00～17:00 小金井キャンパス	15：合唱祭	
3月	12：第519回幹事会15:00～17:00 小金井キャンパス	05：高校卒業式 19：中学卒業式	8：第698回理事会 17：大学卒業式

☆校友会・中高等学校行事の予定は、一部未決定の予定がありますので、注意してください。

☆※の運営委員会は、会長・副会長・総務・庶務・会計のメンバーで構成する。

# 同窓会活動スナップ

同窓会は、年間を通して様々な活動をしていますが、その一端をご覧ください。

同窓会名誉会長、  
顧問就任祝賀会  
4月25日  
於：吉祥寺「第一ホテル」



名誉会長に就任した  
大久保校長



同窓会総会  
5月23日(土) 於：小金井キャンパス小ホール



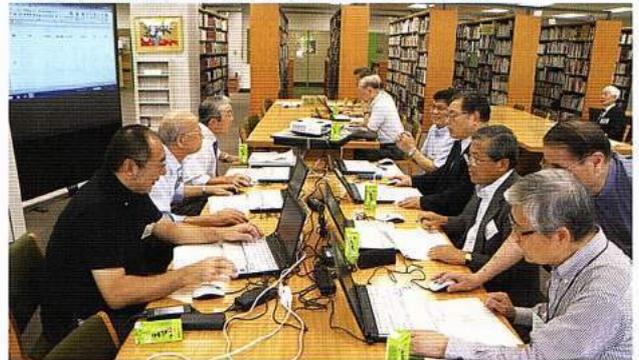
学校主催卒業生招待会  
5月23日(土) 於：小金井キャンパスカフェテリア



NHK杯全国中学校放送コンテスト東京都大会ラジオ  
番組部門で優勝。全国大会で優良賞を受賞した放送  
部に同窓会として記念品を渡す川村副会長



武蔵野祭初日、恒例となったパソコン教室



郊外宿泊幹事会  
12月12日(土)、13日(日)  
於：箱根強羅「太陽山荘」



## 同窓会活動活発化のため、積極的な意見交換が！

同窓会活発化のため、毎年行われている「クラス委員・教職員・幹事・顧問・参与の懇談会」は、今年も、11月28日（土）、午後3時から約2時間にわたって、小金井キャンパス第1会議室で開催され、クラス委員5名、教職員6名、顧問、参与6名、幹事、会計監査22名、計39名が出席しました。



会議風景（第一会議室）



挨拶する渡辺会長

日頃、同窓会は会長を中心に幹事達が運営しておりますが、幹事以外の関係する方々と、年に一度懇談し、活動を報告するとともにご意見を拝聴し、懇親を深める目的で開催されております。

例年、「どうしたらクラス会、クラブOB、OG

会を開催してもらえるか」が主なテーマでしたが、今年は「楽しいクラス会を開催するためには」と、視点を変えた意見交換会になりました。

それぞれの立場から、例年になく有意義な発言が多数ありましたが、幹事一同、これらの提言を今後の活動に生かし、より「クラス会、クラブOB、OG会開催」を促進し、活動の活発化に取り組んでいきたいと思っております。



意見を述べるクラス委員



幹事からの意見



挨拶する大久保新校長



校友会常務理事として挨拶する向芝前校長



加藤先生からも貴重な提言



長年クラス会を続けているクラス委員から貴重な意見



ベテラン参与の方達からの貴重な意見

提言されたご意見の一部を紹介します。

- ・クラス会を開催しているクラスは、その都度、校友会に連絡し、名簿を更新している。
- ・卒業時の所属クラブ名も名簿に載せ、クラブOB、OG会の名簿も整備して欲しい。
- ・クラス会開催申請はホームページからできるが、お祝い金の受け取りに北千住まで行くのが大変だ。
- ・クラス会メンバーをいくつかのグループに分け、担当者を決めると連絡がとりやすい。

### <先生方からのご意見>

- ・飲酒の問題があり、高校を卒業して20才までは宴会的な『クラス会』は開催しにくく、きっかけがなかなか出来ないと思う。
- ・若い時よりも、30才ぐらいになると4～5年に一度クラス会が始まるようだ。
- ・ここ10数年、共学になり、女子が1/3しかないないので、つまらないようだ。

## 平成27年度 第21回TDU「武蔵野祭」<9月15日(土)・16日(日)> 定着してきた「だんわ室」

今年も、武蔵野祭に開設された同窓会、後援会主催の「だんわ室」は、平成23年開設以来、5回目を迎え、卒業生の間でもかなり広まり、



大勢の同窓生や先生方で賑わいました。

卒業生にとって、武蔵野祭は学園を訪れるよい機会ではありますが、生徒主体の行事の中、OB,OGが休憩したり、先生方や旧友と旧交を温める場として大いに役立っております。

また、日頃の同窓会活動や後援会活動を同窓生や生徒、父兄に理解して頂く場としても貴重

な場となっております。

パネルで、同窓会、後援会、校友会の紹介をしたり、同窓会機関紙「朋友」や「校友会のしおり」「後援会新聞」等を資料として配布しております。



もちろん、飲み物、お茶菓子を用意し、係りの者が接待に当たっております。

卒業後、なかなか母校を訪れる機会のない方、ぜひ武蔵野祭の機会に母校を訪れ「だんわ室」にお立ち寄りください。

### 第57回 中学・高等学校同窓会総会・懇親会の御案内

同窓生の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、平成28年度の総会・懇親会を下記の日程で開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

多数の同窓生のご参加をお待ち申し上げます。同級生、お仲間を誘ってぜひご参加ください。

東京電機大学中学・高等学校同窓会  
会長 渡辺 幸久

記

- 日 時 平成28年5月28日(土) 16:00 総会  
17:30 懇親会(無料)
- 会 場 東京電機大学 東京小金井キャンパス 中学校・高等学校 小ホール

※詳細は、中学・高等学校同窓会ホームページ

<http://www.tdu-chukodoso.com/>

をご覧ください。

# 広報委員会より

委員長：伊 奈 敬

同窓会の活動を、より多くの同窓生の皆様に知っていただき、同窓会・母校との関係を深めていただくよう、最新の情報を発信しております。知り合いの同窓生、クラス会仲間にも、ぜひ、ホームページへのアクセスをお勧めください。学校、大学、校友会へもリンクしております。また、同窓会誌「朋友」も、創刊号から最新号までPDF化し、ご覧頂けるようになっております。

●東京電機大学中学・高等学校同窓会ホームページアドレス <http://www.tdu-chukodoso.com>

The screenshot shows the homepage of the Tokyo Denki University Middle and High School Alumni Association. At the top, there's a navigation bar with links like 'HOME', '会員挨拶', and 'クラス会とは'. Below that is a large banner image of a modern building with the slogan '人間らしく生きる' (Living as a human). The main content area is divided into several columns. On the left, there are menu sections for 'ごあいさつ' (Greetings), '組織' (Organization), 'クラス会・OB会開催要項' (Class/Alumni Meeting Details), '事業' (Activities), and '同窓会歴史・同窓会誌' (Alumni Association History/Magazine). The central column features '最新情報&更新情報' (Latest News & Updates) with dates and brief news items, followed by 'お知らせ' (Notice) and '在校生への注意' (Attention to Current Students). The right column contains 'クラス担任・クラス委員' (Class Teachers/Committee), '校歌' (School Song), 'リンク集' (Link Collection), and 'お問い合わせ' (Contact Us). At the bottom, there's a 'Facebookページのご案内' (Facebook Page Guide) section with a Facebook logo and text encouraging alumni to use the page for communication.

## ◎<クラス会・クラブOB/OG会開催に援助金が支給されます>

「クラス会」「クラブOB・OG」会を開催すると、同窓会より年1回、15,000円が援助金として支給されます。また、担任の先生をお呼びすると更に5,000円が支給されます。ホームページからも申請できますので、ぜひアクセスしてみてください。

## クラス会促進委員会より

委員長：金子英司

同窓会の活性化は、まずクラス会・クラブOB会の開催が活発化することからと位置づけ、開催に様々な便宜を図っております。ぜひ、積極的に開催してください。  
 ・「クラス会・クラブOB会」開催に補助金1万5千円の支給  
 ・クラス会名簿の提供（要望により）

●詳しいことは：校友会事務局まで 電話：03（5284）5140 FAX：03（5284）5187

## 平成27年 クラス会・クラブOB会開催状況

（開催期間＝平成27年1月12日～平成28年2月6日の期間に開催されたクラス会、クラブOB会）

No.	開催日	学校別	卒業年	日制	学科名 組 クラス
1	27、1、12	高校	平成3年	全日制	普通科 1.2.3.4.5 組合同
2	27、1、17	高校	昭和39年	全日制	普通科 2組
3	27、4、11	高校	昭和54年	全日制	電子科 1組
4	27、4、18	高校	昭和41年	全日制	電子科 1組
5	27、4、22	高校	昭和27年	全日制	電気科電気機器課程 2組 電気科電力課程 3組合同
6	27、4、23	高校	昭和41年	全日制	機械科
7	27、4、25	高校	昭和42年	全日制	普通科 4組
8	27、5、2	高校	平成20年	全日制	普通科 7組
9	27、5、6	中学校	平成18年		普通科 ABC 組合同
10	27、5、9	高校	昭和40年	全日制	普通科 1・3組
11	27、5、9	高校	昭和40年	全日制	電力科・通信科1・2組 計測科・機械科 合同
12	27、5、17	高校	昭和27年	定時制	電気科 B C 組
13	27、5、19	高校	昭和35年	全日制	電気科電気計測課程
14	27、6、19	高校			吹奏楽部
15	27、6、20	高校	昭和35年	全日制	電気科電力課程 2組
16	27、6、20	高校	昭和53年	全日制	機械科
17	27、6、27	高校	平成19年	全日制	普通科 8組
18	27、8、	高校	平成8年	全日制	電子電気科 2組
19	27、9、26	高校	平成3年	全日制	普通科 6組
20	27、10、12	高校	昭和37年	定時制	電気科電力過程
21	27、10、17	高校	昭和41年	全日制	電子科 2組
22	27、10、22	高校	昭和26年	全日制	電気科電気機器課程
23	27、10、31	高校	昭和42年	全日制	電気科 2組
24	27、11、7	高校	昭和45年	定時制	電気科、電子科合同
25	27、11、8	高校	昭和34年	全日制	電気科電力課程
26	27、11、8	高校	平成25年	全日制	普通科 8組
27	27、11、21	高校			バスケットボール部
28	27、12、9	高校	平成8年	全日制	普通科 6・7 組合同
29	27、12、18	高校	昭和41年	定時制	電気科電力課程 1組
30	28、1、9	高校	平成14年	全日制	普通科 3組
31	28、1、11	中学校	平成23年		A・B・C・D・E 組合同
32	28、1、23	高校	平成8年	全日制	情報科学科 2組
33	28、1、31	高校			将棋愛好会
34	28、2、6	高校	昭和39年	全日制	普通科 2組

## ● 学校・学科・年次別卒業生数一覧 (平成 25 年卒～ 27 年卒)

卒業年次	高等学校クラス										合計
	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>	L <sub>4</sub>	L <sub>5</sub>	L <sub>6</sub>	L <sub>7</sub>	L <sub>8</sub>	L <sub>9</sub>	L <sub>10</sub>	
H25	15	25	30	30	29	28	32	31	11	24	255
26	12	23	36	34	33	13	27	33	32		243
27	7	26	34	31	31	30	10	23	30	29	251
合計 (累計)											749 (13,936)

卒業年次	中学校クラス						合計
	A	B	C	D	E	F	
H25	34	33	33	33	34		167
26	32	32	34	32	32		162
27	30	30	31	30	31	31	183
合計 (累計)							512 (1,950)

## ● 学校・学科・卒業年次別担任・クラス委員一覧 (平成 25 年卒～ 27 年卒)

卒業年次		高等学校クラス									
		L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>	L <sub>4</sub>	L <sub>5</sub>	L <sub>6</sub>	L <sub>7</sub>	L <sub>8</sub>	L <sub>9</sub>	L <sub>10</sub>
H25	担任	樺山 裕子	影山 大	山内 雄司	金岡 克倫	大塩 博美	八百屋尚志	内山 真司	山田 朋美		
	クラス委員	久保 直樹 眞守 慶	飯田 有果 鈴木 洋志	片山 夏波 軽部 昌容	久保 香織 多賀富士子	秋山 将大 諸澤 幹人	原田 弘平 山中 勇成	榎並京次郎 小林彩菜恵	酒葉 健 吉田 香織		
26	担任	高橋 成弥	池田 巧	河野 吉伸	米山 裕	幸治 茂弘		深谷 哲弘	北園 桂子		
	クラス委員	石川里咲子 守屋 翔平	野田 裕太 松崎 史也	後藤 沙苗 徳田 綾	松平 頼知 小田川 照	増田 峻太 安田 直弥		藤下 大知 嶋田 圭汰	高波 郁美 山田 憲汰		
27	担任	松永 航平	柴山 恵美	陰山 稔	八百屋尚志	宮本 章吾	山住 直政		山崎 晴康	阿部 苗美	
	クラス委員	渡辺 松平 鴻池 春奈	吉成 泰生 石田 翼	鈴木 彩花 高森 軒佑	秋山 駿 菊池 慶樹	高村 康 青山 達郎	藤野 加奈 常山 美穂		笹 詩絵里 宮原 章人	桑原 知也 服部 哲大	

卒業年次		中学校クラス					
		A	B	C	D	E	
H25	担任	疋田 康之	竹内 宙明	山本 将也	市川麻紀子	山崎 武光	
	クラス委員						
26	担任	齊藤 周	松下 佳世	吉澤 稔	中田 和樹	加藤 学	
	クラス委員						
27	担任	小松 寛明	堀内 厚平	樋田 毅	磧谷 和樹	横田 美月	深見 雅子
	クラス委員						

※中学校は平成 24 年度 (H25.3 卒) より、選出を中止。

★平成 24 年までのデータは、中・高同窓会ホームページをご覧ください。

# 学園・時事と同窓会の歩み

年 月	学 園 ・ 時 事	同 窓 会
1907( 明治 40)年 9月	・ 広田・扇本両先生によって高等学校の母校である電機学校創設。	
1923( 大正 12)年 9月	・ 関東大震災により木造校舎焼失。	
1924( 大正 13)年 12月	・ 電機学校私設無線電信電話局 JMYM 認可される。NHK 東京放送局に先駆け送受信を行っていた。	
1928( 昭和 3)年 11月	・ NE 式写真電送成功	
1936( 昭和 11)年 2月	・ (2・26 事件発生)	
1939( 昭和 14)年 4月	・ 実業学校令による東京電機工業学校(高等学校の前身)を併設。昼間部・夜間部の課程を置く。	
3月	・ (第2次世界(欧州)大戦勃発)	
1941( 昭和 16)年 12月	・ (太平洋戦争勃発)	
1944( 昭和 19)年 4月	・ 校名を電機第一工業学校と改称、別に電機第二工業学校を設置。	
1945( 昭和 20)年 8月	・ (広島・長崎に原爆投下、戦争終結)	
1948( 昭和 23)年 4月	・ 学校改革により電機第一、同第二工業学校が合体して、電機学園高等学校となる。普通科新設。	
1949( 昭和 24)年 3月	・ 電機第一・二工業学校廃止。	
1952( 昭和 27)年 5月	・ 電検認定制度が変更され、本校が第一次試験免除校に認定。	
1956( 昭和 31)年 2月	・ 校名を東京電機大学高等学校と改称。	
1957( 昭和 32)年 4月	・ 文部省産業教育研究校に認定。	
11月	・ 創立 50 周年記念式典を東京体育館にて挙る。	
12月	・ (一万円札発行)	
1958( 昭和 33)年 10月	・ 文部省産業教育指定校として、研究発表会を挙る。	
1959( 昭和 34)年 1月		・ 高校同窓会設立の援助を校友会・および母校に願ひ出る。
2月		・ 母校より同窓会設立準備金として 76,700 円下賜される。
3月		・ 設立発起人会を開催。
4月		・ 創立総会を本館 5 階講堂で開催。校友会から高校同窓会設立を承認される。
1960( 昭和 35)年 11月	・ 丹羽保次郎学長、文化勲章受賞。	・ 勤務地区別同窓会名簿を発行する。
1962( 昭和 37)年 3月	・ 文京区後楽に高校校舎建設計画決定。	・ 初めて校友会経由で入会金が同窓会に入る。
1963( 昭和 38)年 3月	・ 高等学校の教育課程改定に伴い機械科、電子科、電気科、と改定する。	
1964( 昭和 39)年 3月		・ 総会でレリーフ基金募金開始を決定、募金活動を開始する。
6月	・ 山梨県八ヶ岳山麓に清里寮竣工。	
10月	・ (オリンピック東京大会開催)	
11月		・ 千代田区地区同窓会、中央地区同窓会発足。
1965( 昭和 40)年 4月	・ 文京区後楽に高等学校校舎ならびに体育館竣工、新校舎で授業開始。	
6月		・ 小石川新校舎で初の総会開催。
		・ 第 1 回の全卒者名簿の発行に協力。
1966( 昭和 41)年 4月		・ 勤務地区別同窓会名簿を改定発行。
1968( 昭和 43)年		・ レリーフ基金をもとに"若者の像"製作。
1969( 昭和 44)年 3月	・ 工業計測科廃止。	
1970( 昭和 45)年 3月	・ (日本万国博覧会開幕)	
1973( 昭和 48)年 5月		・ 総会を兼ねて、湯島会館にて同窓会 30 周年記念、歴代校長を囲む会を開催。
1974( 昭和 49)年 4月		・ 第 1 回クラス委員名簿(住所録付き)を発行。
7月		・ 本年度より同窓会の新しい事業として、電機大学へ進学した新会員を対象とした、英語、数学の実力向上のため会員講習会を開催。

年 月	学 園 ・ 時 事	同 窓 会
1975(昭和50)年 7月 1977(昭和52)年 6月	・ 大学理工学部開設と学園創立 70 周年記念式典を鳩山校舎にて挙行。	・ 第 2 回の全卒者名簿の発行に協力。
1978(昭和53)年 6月		・ 本年度の総会で 53・54 年度の同窓会の事業として、創立 40 周年記念事業を推進することを決議。
1979(昭和54)年 6月	・ 高等学校創立 40 周年記念式典を「グランドパレス」にて挙行。 ・ 東京私立中学・高等学校協会第四支部の支部長校となる。(任期 1 年)	・ 同窓会創立 20 周年記念と総会を『グランドパレス』にて挙行。 ・ 高等学校創立 40 周年記念式典と記念事業に協力。
1982(昭和57)年 6月		・ 総会後第一工業、第二工業の卒業生を招待、小石川体育館で懇親会開催。 ・ 第 3 回全卒者名簿発刊に協力。
11月	・ 学園創立 75 周年記念式典を『東京プリンスホテル』にて挙行。	
12月	・ 小石川校舎増築工事起工式。	
1983(昭和58)年 6月		・ 総会後、池谷元校長より「絵についての思い出」講演、懇親会場にも展示。
8月	・ 小石川校舎 3 号館竣工式。	
1984(昭和59)年 6月		・ 総会後清水元校長「小石川移転の思い出」を講演、懇親会場に佐藤吉弥先生の絵を展示。
7月	・ 機械科の募集、昭和 60 年より募集停止。	
10月		・ 同窓会 25 周年記念事業委員会で同窓会小冊子の発行を目的に編集小委員会を発足。
1985(昭和60)年 2月 3月 6月	・ 機械科を電子機械科に改編。 ・ (科学万博(つくば'85)開幕)	
10月		・ 「エレクトロニクス先端産業と今後の動向」について S31 卒石川明氏、小石川体育館にて講演。
1986(昭和61)年 4月		・ "朋友" 25 周年特別号を発行。 ・ "朋友" を同窓会会報として継続発行することとなり、創刊号発行。
11月	・ (伊豆大島、三原山 206 年ぶり大噴火) ・ 第 1 回卒業生招待会(S17-S30 迄)を開催。母校からの招待者 240 名出席。 ・ 第 2 回卒業生招待会を後楽園会館で開催(S31-S40 年卒)。	・ 電高祭で「優秀賞」の表彰。
1987(昭和62)年		
1988(昭和63)年 3月	・ (世界最長、青函トンネル開業) ・ 第 3 回卒業生招待会を小石川校舎体育館で開催(S41-S46 年卒)。	
1989(平成元)年 5月	・ アイオワ大学工学部と推薦入学に関する協定書調印。	
1989(平成元)年 11月	・ (ドイツ、ベルリンの壁崩壊) ・ 高等学校創立 50 周年、第 4 回卒業生招待会(全卒業者)日中友好会館で開催。	
1990(平成2)年 4月 9月 11月	・ 工業科を電子電気科、情報科学科に改編。 ・ 小金井校舎地鎮祭実施。	
1991(平成3)年 1月	・ (湾岸戦争勃発、ソ連邦消滅宣言) ・ 小金井校舎建設資金募集開始、目標金額 5 億円、期間 H3.1.1 ~ H5.12.31。	・ 同窓会設立 30 周年記念講演を卒業生、矢追純一氏(元日本テレビディレクター)「宇宙人は実在する!？」を講演。
1992(平成4)年 3月 4月	・ 小金井キャンパスに高等学校舎竣工。 ・ 文京区小石川校舎から小金井校舎に移転。新校舎にて授業開始。	
6月		・ 小金井新校舎で初めて総会を開催。
9月	・ 電高祭から TDU 武蔵野祭に改称。	
10月	・ 電気科、電子科、電子機械科を廃止。 電機学校廃止。	
1994(平成6)年 11月		・ 同窓会機関紙“朋友”をタブロイド版の新聞形式で編集、送付決定。
12月	・ 東京電機大学中学校設置文部省に申請。	

年 月	学 園 ・ 時 事	同 窓 会
1995(平成7)年 7月		・同窓会設立 35 周年記念講演として、元巨人軍打撃コーチ中畑清氏講演。
1996(平成8)年 4月 5月 6月 7月 11月	・東京電機大学中学校入学式。 ・東京電機大学中学校開設披露式挙行。	・第 10 回卒業生招待会開催(高校小ホール)。 ・第 3 回全卒業生名簿の発行に協力。 ・新聞形式の"朋友"を従来の冊子形式とし、中畑清氏の講演を掲載。
1997(平成9)年 7月 9月	・文部省、大学へ「飛び入学」を可能とする省令改正を公布、即日施行。 ・学園創立 90 周年記念式典を『東京国際フォーラム』にて挙行。日本人初の宇宙飛行士『秋山氏』が同会場にて記念講演。	
1998(平成10)年 6月 8月		・中学・高等学校同窓会会則を改定。 ・第 1 回三同窓会(電機学校・中高・大学)の会長、副会長合同懇親会を上野「風月堂」にて開催。
1999(平成11)年 4月 6月 8月	・中学・高等学校男女共学となる。 ・高等学校の工業に関する学科(電子電気科情報科学科)生徒募集停止。 ・高等学校創立 60 周年記念式典を高校小ホールで開催。体育館で東京電機大学学長小谷誠氏「超電導の世界」を講演後、祝賀会を吉祥寺第一ホテルにて挙行。	・同窓会設立 40 周年記念総会を高校会議室で開催後、記念の祝賀会を吉祥寺第一ホテルにて挙行。 ・第 2 回三同窓会の会長、副会長合同懇親会を上野「風月堂」で開催。 ・荻原会長から小長谷会長にバトンタッチ。 ・役員人事専門委員会発足。 ・第 3 回三同窓会(電機学校・中高校・大学)会長・副会長合同懇親会、神楽坂「鳥茶屋」にて開催。 ・第 4 回三同窓会(電機学校・中高校・大学)会長・副会長合同懇親会開催。
2000(平成12)年 6月 12月		・初的女性同窓会員誕生。
2001(平成13)年 1月 4月 7月 9月	・高等学校の工業に関する学科(電子電気科情報科学科)を廃止。 ・日本テレビ第 25 回鳥人間コンテスト出場。 ・同時多発テロ、アメリカ「貿易センタービル」崩壊	・総会にて会則改定により副会長 3 名体制となる。また、下記 3 つの委員会が発足。 1、朋友・しおり委員会 2、クラス会促進委員会 3、業務 IT 化委員会
2002(平成14)年 3月 4月 6月 11月	・大学学長に当麻嘉弘氏就任。	・中・高同窓会ホームページ開設。
2003(平成15)年 4月 7月	・大学同窓会創立 50 周年記念式典開催。(椿山荘にて 629 名出席) ・創立 100 周年記念事業募金開始。 目標額 15 億円 期間 平成 15 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日 ・21 世紀 COE プログラムが文部科学省により採択される。	
2004(平成16)年 3月 5月 6月	・学園理事長に加藤康太郎氏就任。 ・大学学長に原島文雄氏就任。 ・短期大学廃校。 ・秋葉原ダイビルに秋葉原ランチ開設。 ・第 17 回卒業生招待会開催(高校カテドラル)。 ・校友会理事長、岡田榮一氏退任。 ・校友会理事長に石塚昌昭氏就任。 ・大学学長に古田勝久氏就任。	・小長谷会長から石崎会長にバトンタッチ。
2005(平成17)年 2月 3月 6月		・数年ぶりの宿泊校外幹事会開催(伊豆高原荘)。 ・第 47 回定期総会開催(小金井キャンパス) ・第 48 回定期総会開催(神田キャンパス)
2006(平成18)年 6月		

年 月	学 園 ・ 時 事	同 窓 会
2007(平成19)年6月 9月	・ 学園創立100周年記念式典「日本武道館」にて挙行(祝賀会「帝国ホテル」にて)	・ 第49回定期総会開催(小金井キャンパス)
2008(平成20)年4月	・ 大学キャンパスを足立区北千住駅東口前に創設することを決定。	・ 校外幹事会開催 箱根小涌谷「かながた箱根荘」
2009(平成21)年4月 6月 6月	・ 中学校・高等学校学校長に向芝京太氏就任 ・ 高校創立70周年記念式典、祝賀会(同窓会50周年、PTA60周年、後援会30周年合同開催)	・ 第50回定期総会開催(神田キャンパス) ・ 第51回定期総会開催(小金井キャンパス) ・ 同窓会50周年記念式典、祝賀会(高校創立70周年、PTA60周年、後援会30周年合同開催)
2011(平成23)年3月 6月 9月 10月	・ 校友会創立100周年記念式典、祝賀会「ホテルグランドパレス」にて挙行 ・ 東日本大震災(巨大津波・原発事故) ・ 校友会理事長に渡辺貞綱氏就任	・ 第52回定期総会開催(神田キャンパス最後) ・ 武蔵野祭で第1回「だんわ室」開設 ・ 校外幹事会 箱根小涌谷「かながた箱根荘」
2012(平成24)年4月 6月 9月	・ 大学・校友会「東京千住キャンパス」へ移転	・ 会長に渡辺幸久氏が就任 ・ 第53回定期総会開催(東京千住キャンパス初) ・ 小金井キャンパスに第2回「だんわ室」開設
2013(平成25)年4月 6月 10月 12月	・ 校友会が一般社団法人に移行 「富士山」世界文化遺産に登録 「和食」世界無形文化遺産に登録	・ 第54回定期総会開催(東京千住キャンパス) ・ 校外幹事会開催(伊豆高原)
2014(平成26)年2月 4月 5月 8月 10月 12月	ソチ冬季オリンピック開催 消費税5%→8%に 韓国「セオル号」沈没死者294名 西アフリカ「エボラ出血熱」流行 ノーベル賞日本人3人受賞(青色ダイオード)	・ 第55回定期総会開催(東京千住キャンパス) ・ 校外研修会開催(日光川治温泉)
2015(平成27)年3月 4月 5月 6月 10月 11月 12月	北陸新幹線「金沢」開通 ・ 中学校・高等学校学校長に大久保靖氏就任 ・ 校友会理事長に松尾隆徳氏就任 シリア難民問題多発 パリ同時多発テロ発生死者120名超 ノーベル賞日本人2人受賞	・ 第56回定期総会開催(小金井キャンパス) ・ 校外幹事会開催(箱根強羅温泉)

# 東京電機大学中学・高等学校同窓会会則

## 第1章 名称および事務所所在地

(名称)

第1条 本会は、東京電機大学中学・高等学校同窓会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を東京都足立区千住旭町5番 東京電機大学校友会内に、従たる事務所を東京都小金井市梶野町4-8-1 東京電機大学中学・高等学校内に置く。

## 第2章 目的

第3条 本会は、会員相互の親睦を図り、併せて会員と母校との連繋を密にして母校の発展に寄与し、また東京電機大学校友会の事業遂行に協力するを以って目的とする。

## 第3章 会員

第4条 本会の会員は、正会員、準会員および特別会員よりなる。

正会員は、東京電機大学中学校、東京電機大学高等学校、東京電機工業学校、電機第一工業学校、同併設中学校、電機第二工業学校、同併設中学校および電機学園高等学校の卒業生とする。

準会員は、東京電機大学中学校および東京電機大学高等学校の在校生とする。

特別会員は、東京電機大学中学校・東京電機大学高等学校の教職員・退職教職および本会に特に功労のあった人で、幹事会で承認された人。

第5条 名誉会長・顧問・準会員および特別会員は、議決権、選挙権および被選挙権を有しない。

## 第4章 役員・幹事・会計監査・他

第6条 本会の構成は以下とする。

- 2 名誉会長1名。
- 3 役員として会長1名、副会長若干名、会計1名および総務若干名。
- 4 幹事50名以内(内、上記役員を含む)。
- 5 会計監査2名。
- 6 顧問および参与若干名。
- 7 クラス委員は、各クラス3名まで置くことができる。

(役員等の選任)

第7条 会長、副会長、会計は、総会において幹事より選出する。

2 名誉会長には、東京電機大学中学校・高等学校学校長を推戴する。

3 会計監査は、幹事以外から総会において選出する。

4 顧問は、名誉会長の経験者で、会長が推薦し、幹事会の承認を得るものとする。

5 参与は、原則として会長(旧会則による幹事長)および会長に準ずる経験者で幹事会の承認を得るものとする。

6 幹事は、会長が会員より推薦を受け、幹事会の承認を得た時点で任命・就任するものとする。

(役員等の職務)

第8条 会長は、本会を代表し、会務を総括し、役員会および幹事会の議長となる。

2 副会長は、会長の任務を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、会長の任務を代行する。

3 会計は、本会の会計を担当する。ただし、本会の会計は校友会の会計の一部を構成するため、校友会事務局と連携して担当するものとする。

4 会計監査は、本会の会計を監査し、幹事会に出席して意見を述べる事が出来る。

5 総務は、総務担当および庶務担当に依り成り、本会の総務全般を担当する。

6 幹事は、会務を分担し、本会の運営にあたる。

7 クラス委員は、クラス会を開催し、本会との連絡を緊密にし、本会の発展を図る。

8 名誉会長、顧問および参与は、本会の求めに応じて意見を述べる事ができる。

(役員等の任期)

第9条 役員等の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2 会長は、総会で新たな会長が選出されたとき、幹事の任期が残存している場合でも、幹事の任期満了とみなされ幹事を退任する。

3 役員に欠員を生じ会務に支障のあるときは、第7条の規定に従い、必要に応じて、これを補充することができる。ただし、その任期は、前任者の残任期間とする。

4 幹事の任期は、2年とし、再任を妨げない。

5 幹事は、第7条の規定に従い必要に応じて、これを補充することができる。ただし、その任期は、新任時のみ当該年度と翌1年間とする。

## 第5章 会議

(会議の種類)

第10条 会議は、総会、役員会および幹事会とする。

(総会)

第11条 定時総会は、毎年1回会長がこれを招集する。

2 総会の議長は、出席者より選出する。

3 次の事項についての決議および報告を行う。

(1) 役員の選出

(2) 事業報告および決算の承認、会計監査の報告

(3) 事業計画および予算の承認

(4) 幹事会で承認された幹事氏名の報告

4 総会で決議され報告された事項については、第7条第1項ただし書きによる承認のほかは、校友会理事会に遅滞なく報告するものとする。

(役員会)

第12条 役員会は、役員により構成し、会長が召集し、会務を審議決定する。

(幹事会)

第13条 幹事会は、役員、幹事により構成し、必要に応じて会長が招集し、会務を審議決定する。

2 会員より推薦された幹事の承認を行う。

(決議)

第14条 総会、役員会および幹事会は、出席人数を以って成立し、その決議は、出席人数の過半数をもって行う。ただし、会則の改正についての決議は、出席人数の3分の2

以上の多数をもって行う。

## 第6章 委員会

(委員会)

第15条 会長は、業務遂行上必要であると判断した場合、幹事会の承認により、委員会を設けることができる。

2 委員会の委員は、会長が選任し、幹事会の承認を得るものとする。

3 当該委員会を開催した都度、会長にその結果を報告するものとする。

## 第7章 会計

(経費)

第16条 本会の活動費用に充てるための経費は、校友会から交付された資金をもって充当する。

2 諸会合に要する経費は、その実費を会員から徴収することができる。

(事業年度)

第17条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月末日に終わる。

## 第8章 会則の改正および委任

(改正)

第18条 この会則の改正は、総会の決議を経て行う。

(委任)

第19条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は幹事会の承認により、会長が別に定めるものとする。

## 附 則

1 本会則は、昭和35年4月17日より施行する。

2 昭和46年5月15日 第6条第4項一部改正

昭和47年6月27日 第6条第1項一部改正

昭和50年6月7日 第13条第1項一部改正

昭和56年6月27日 全面改正

昭和57年6月26日 第13条第1項一部改正

昭和60年6月22日 一部改正

平成4年6月20日 一部改正

平成9年6月21日 一部改正

平成14年6月15日 第6条第三号一部改正

平成16年5月15日 全面改正

平成17年5月14日 第8条第3項削除、第11条の変更、他一部変更

平成20年5月10日 一部改正(第7条名誉会員を会長に、第10条会計監査追記、他)

平成22年5月15日 全面改正(幹事を幹事会で承認できるように会則の改定を行い、更に細則の多くを本会則第7条に取入れた。また、会長は、新会長が選出された時点で、幹事を降りなければならないが、副会長・会計は、各新役員が選出されても幹事を継続する)

平成25年4月1日 全面改正(一般社団法人東京電機大学校友会の設立の登記の日から施行)

平成25年4月27日 会計2名に訂正および会計監査(2名)の追加

平成26年5月17日 役員の明確化、総会議案についての決議および報告の明確化

## 編集後記

創刊以来、B5サイズで発行してきました冊子形式の機関紙「朋友」は、今年度よりA4サイズと一回り大きなサイズで発行することになりました。文字サイズ、写真等も大きくすることができ、読みやすさ、写真の見やすさも改善されたことと思います。

内容に関しては、同窓会活動の広報はもとより、現役生徒達にとって、自分達の将来にも大いに関心の持てる、様々な世界で活躍する先輩方の仕事や情報の特集を組んでみました。

今回、大変お忙しい中、ご寄稿いただきましたシチズンマシナリー(株)の柳平様、未来科学科建築学専攻の島津様には厚く御礼申し上げます。

また、掲載記事収集に当たり、学園の先生、校友会事務局に大変ご尽力いただきました。改めて厚く御礼申し上げます。

編集委員一同

平成28年3月5日 発行 (非売品)

発行責任者 渡辺 幸久

(編集兼発行所)

東京電機大学中学・高等学校同窓会

住所:東京都足立区千住旭町5番

東京電機大学校友会

電話:03-5284-5140

---

東京電機大学中学・高等学校同窓会

住所:東京都小金井市梶野町4-8-1

電話:0422-37-6441

## 学園創設者胸像



扇本先生



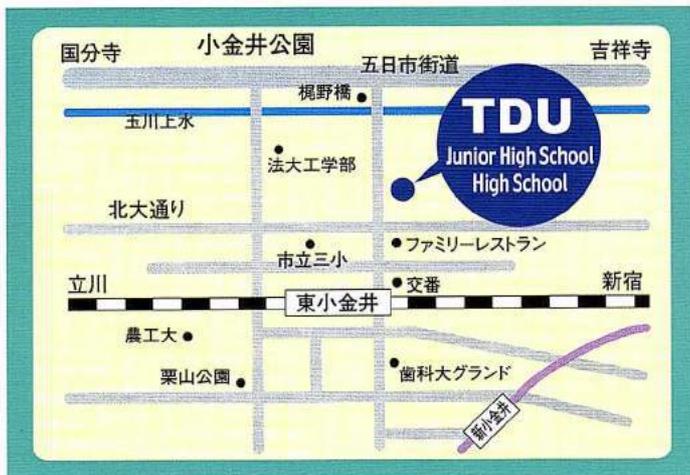
廣田先生

## 学園創立60周年記念「若者の像」



「若者の像」は、河部先生のレリーフをもとに、同窓会・学園・生徒会により制作されたもので、現在、小金井キャンパスのグラウンドに設置されている。

### <中学校・高等学校案内図>



### <校友会案内図>



東京電機大学中学・高等学校同窓会 〒184-8555 東京都小金井市梶野町 4-8-1 tel: 0422(37)6441(代)

●ホームページ <http://www.tdu-chukodoso.com>

東京電機大学校友会 〒120-8551 東京都足立区千住旭町 5 番 東京電機大学 1号館2階 tel: 03(5284)5140

●ホームページ <http://www.tduaa.or.jp>